TOSHIBA

形名

HD-XA1

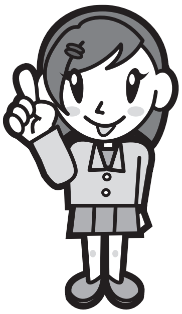
東芝 HD DVDプレーヤー



取扱説明書

●このたびは東芝HD DVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●お求めのHD DVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
●保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認の上、たいせつに保管してください。
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
●インターネットによるオンライン登録または、同梱されておりますFAX用紙によるユーザー登録にご協力ください。
（インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス http://room1048.jp/）

特長／付属品



HD DVDビデオディスクを再生！！

次世代にふさわしい高密度／大容量化したディスクが
HD DVDビデオディスクです。

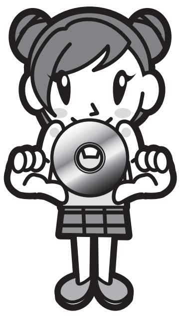
●DVDフォーラムで規格承認された、
それがHD DVD HD DVD ディスク。

●HD DVD(一層)は約15GB、
HD DVD(二層)は約30GBの大容量。

HD DVDは新規格です。ディスクによっては本機で再生できないものもあります。

HD DVDディスクの高画質映像をお楽しみになるには、高解像度(480p、720p、1080i)に対応したテレビ(プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ)を、本機のD端子またはHDMI端子につないでお使いになることをおすすめします。

これら以外のテレビでは、HD DVDの映像を見ることはできますが、ハイビジョン映像でご覧いただくことはできませんのでご注意ください。



マルチディスク対応

●市販のHD DVDビデオ、DVDビデオ、音楽用CDの再生

●DVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rの再生
（DVD VRモードまたはDVDビデオモードでの録画済みディスク）

●CD-RW、CD-Rの再生
（CD-DAフォーマットの音楽用CD、MP3ファイル、WMAファイル）

※お使いになれるディスクについては、⇨26ページをご覧ください。
ディスクによっては本機で再生できないものもあります。

※ブルーレイディスクは再生できません。



ネットワーク機能(LAN端子)装備

●HD DVDディスク※の中には、専用サイトなどにアクセスできるディスクがあります。ブロードバンド常時接続環境をお持ちの方なら、映画の予告編など専用サイトのコンテンツを本機の出力として視聴できます。

※HD DVDソフト仕様によります。対応ディスクでなければ、この機能は働きません。



多彩な出力端子を装備

●1本のケーブルで映像／音声をデジタル信号でつなぐHDMI端子を装備。

●D1～D4信号出力ができるコンポーネント端子とD端子を装備。

高解像度の映像コンテンツを見るには…
- 高解像度(720p、1080i)信号入力対応テレビまたはモニターが必要です。
- 高解像度のコンテンツが記録されたHD DVDディスクが必要です。
- 一部のコンテンツでは(ディスクの説明や表示をご確認ください)、HDMI入力またはHDCP対応のDVIポートのあるテレビもしくはモニターが必要です。
- 標準画質のDVDディスクをアップコンバート(従来画像の解像度を電子的にHDのレベルまであげることをいいます。)で見る場合、コピーガードのかかったコンテンツは、HDMI入力またはHDCP対応のDVIポートのあるテレビもしくはモニターが必要です。

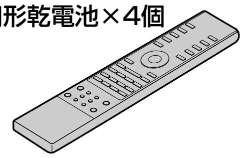
●5.1チャンネルサラウンドアナログ音声出力端子を装備。

ドルビーデジタルプラス、DTS-HD（コアストリームのみ)のマルチチャンネル音声を楽しむには、5.1チャンネルアナログ音声入力もしくは、HDMIマルチチャンネルリニアPCM対応音声入力のあるAVアンプ等が必要です。

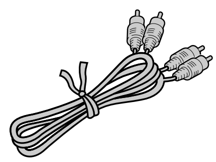
付属品

以下の付属品があります。お確かめください。

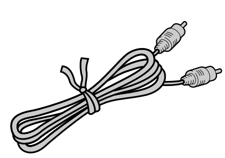
ワイヤレスリモコン
単四形乾電池×4個



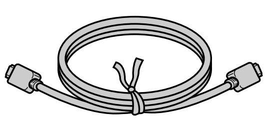
音声接続コード



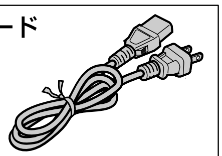
映像接続コード



HDMIケーブル



電源コード



注意！
本製品以外にこの電源コードを使用しないでください。

もくじ

4 再生（応用編）

5 ネット機能

6 その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1： 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

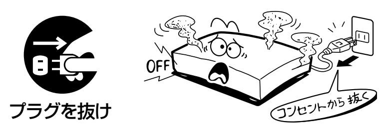
■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

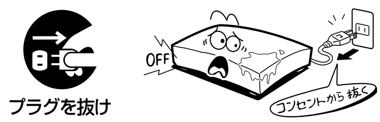
⚠ 警告

異常や故障のとき

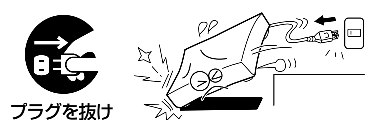
煙が出ていたり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



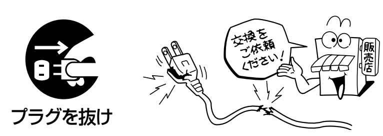
内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。



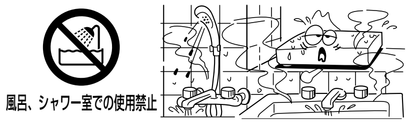
電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



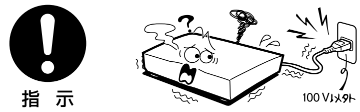
⚠警告

設置するとき

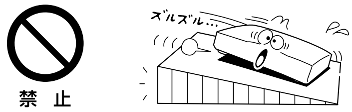
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと
火災・感電の原因となります。



電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。

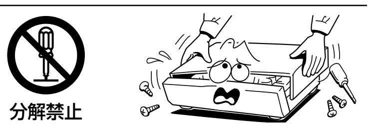


上にものを置かないこと
●金属類や、花びん･コップ･化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災･感電の原因となります。
●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

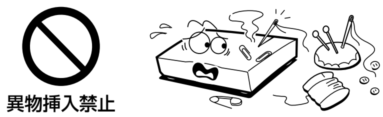


使用するとき

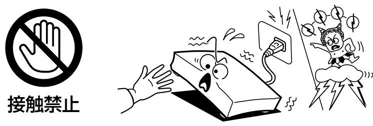
修理・改造・分解はしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



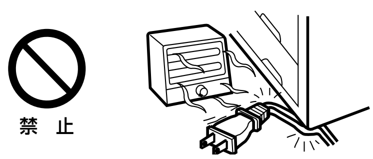
ディスクトレイなどから異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。



雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れないこと
感電の原因となります。

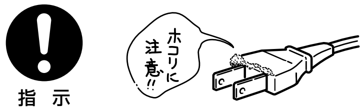


電源コードは
●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと
●他の電源コードは使用しないこと
●他の機器に使用しないこと
火災・感電の原因となります。



お手入れについて

時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること
電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

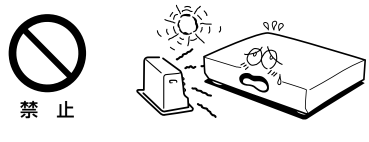


安全上のご注意(つづき)

⚠注意

設置するとき

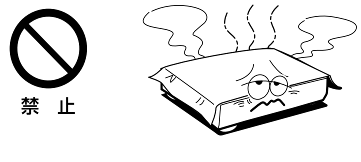
温度の高い場所に置かないこと
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



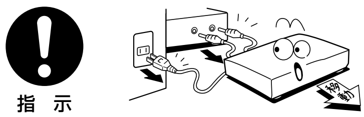
湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



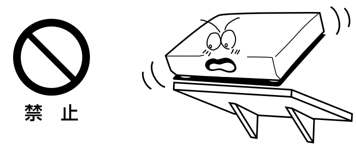
風通しの悪い場所に置かないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
●壁に押しつけないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。



移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

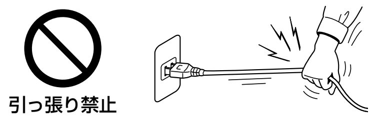


高い場所に設置しないこと
本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

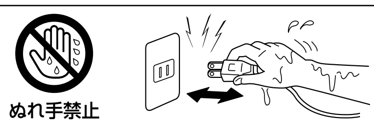


使用するとき

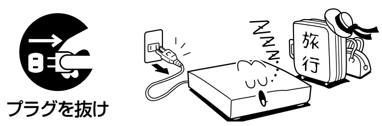
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。



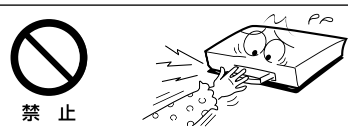
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



ディスクトレイに、手を入れないこと
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。



背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。

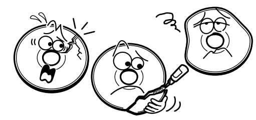


⚠注意

使用するとき

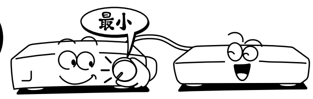
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁止



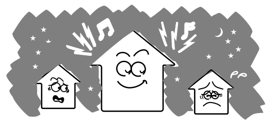
電源を入れる前には音量を最小にすること
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

指示



テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと
音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

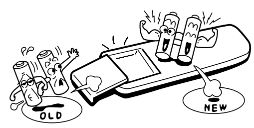
禁止



リモコンに使用している乾電池は、
●指定以外の乾電池は使用しないこと
●極性[(＋)と(－)]を間違えて挿入しないこと
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
●乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと
これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

禁止





使用上のお願い

取扱いに関すること

●非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
●移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
●長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

使用しないときは

●ふだん使用しないとき
ディスクトレイから必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
●長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

●本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。
●直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

●お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。
●キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽くふき取ってください。
●ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。
変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

音量について

●市販のHD DVDディスクまたはDVDディスクの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。
これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

免責事項について

●火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断)に関して、当社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ(操作不能)などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

再生するときの制約

付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。HD DVDディスクまたはDVDディスクは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⃠」が表示されることがあります。
「⃠」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

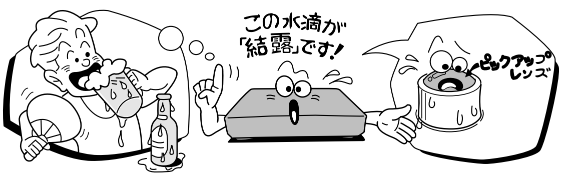
ソフトウェアの変更について

本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。
(⇨57ページ)

結露（露付き）について

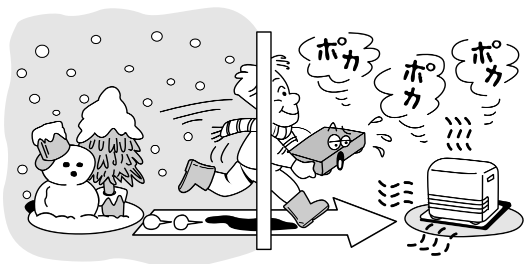
結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



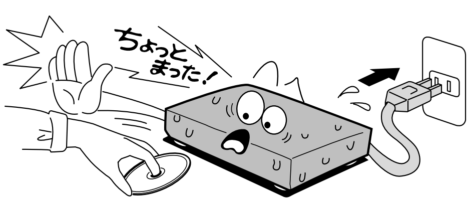
■“結露”はこんなときおきます。

●本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
●暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
●夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して置いたとき
●湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。



著作権について

●ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。
●本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。
米国特許5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、6,226,616、6,487,535およびその他外国特許を出願中です。
DTSおよびDTS Digital SurroundはDigital Theater Systems, Inc.の登録商標です。
著作権1996年、2003年Digital Theater Systems, Inc.不許複製。

HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標又は登録商標です。

SHARC、SHARCロゴ、SHARC Melodyは、アナログ・デバイセズの登録商標です。

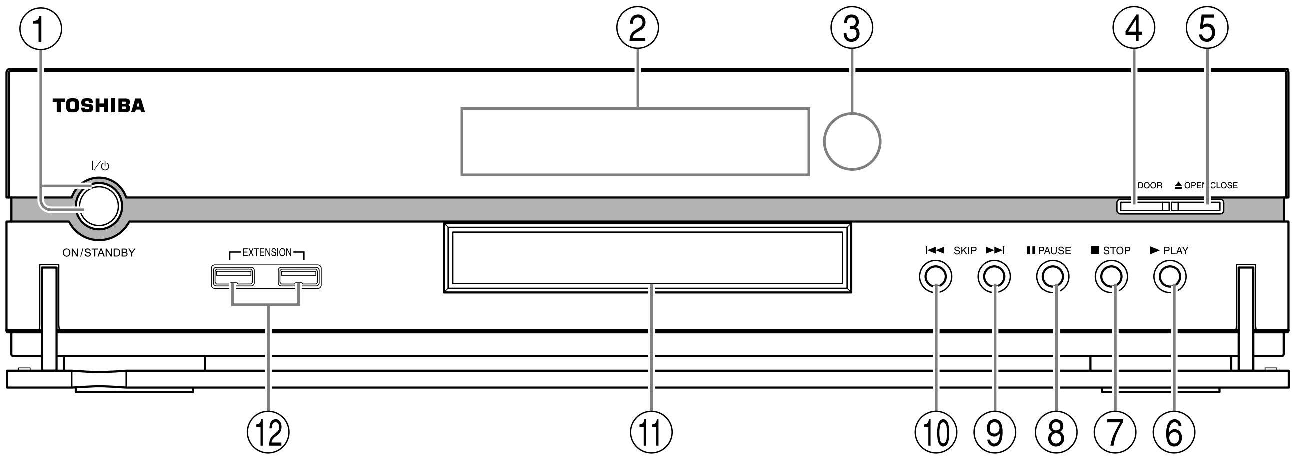
Windows Media™、及びWindows® ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本取扱説明書に記載されている名称、会社名、商品名などには、各社の登録商標や商標が含まれています。

各部の名前

くわしくは➡のページをご覧ください。

前面



① 電源ボタン(ON/STANDBY)／電源インジケーター ➡28ページ
電源を入／待機にします。

② 表示窓 ➡14ページ

③ リモコン受光部 ➡16ページ

④ 扉ボタン(DOOR) ➡28ページ
扉を開閉します。

⑤ 開／閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE) ➡28ページ
ディスクトレイを開閉します。

⑥ 再生ボタン(▶ PLAY) ➡29ページ
再生を開始します。

⑦ 停止ボタン(■ STOP) ➡29ページ
再生を停止します。

⑧ 一時停止ボタン(II PAUSE) ➡29ページ
再生を一時停止します。

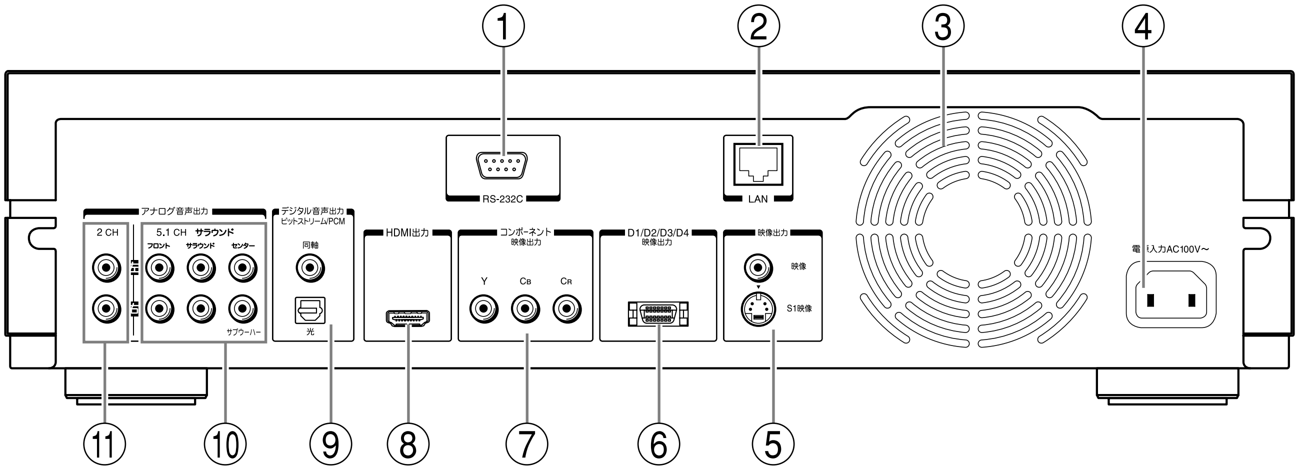
⑨ スキップボタン(SKIP ▶▶|) ➡33ページ
次のチャプター／トラックにスキップします。

⑩ スキップボタン(|◀◀ SKIP) ➡33ページ
前のチャプター／トラックにスキップします。

⑪ ディスクトレイ ➡28ページ
ディスクを入れます。

⑫ EXTENSION端子 ➡38ページ

背面



① RS-232C端子
機能拡張用端子です。

② LAN端子 44ページ
ブロードバンド常時接続環境のネットワークと接続します。

③ 冷却用ファン
通風孔をふさがないでください。

④ 電源入力端子 20ページ
付属の電源コードを接続します。

⑤ 映像出力（映像／ S1映像）端子 20ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。

⑥ D1/D2/D3/D4映像出力端子 22ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにD端子があるときに接続します。

⑦ コンポーネント映像出力端子 22ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにコンポーネント端子があるときに接続します。

⑧ HDMI出力端子 21ページ
テレビやモニター、AVアンプに映像／音声信号を出力します。テレビやモニター、AVアンプにHDMI端子があるときに接続します。

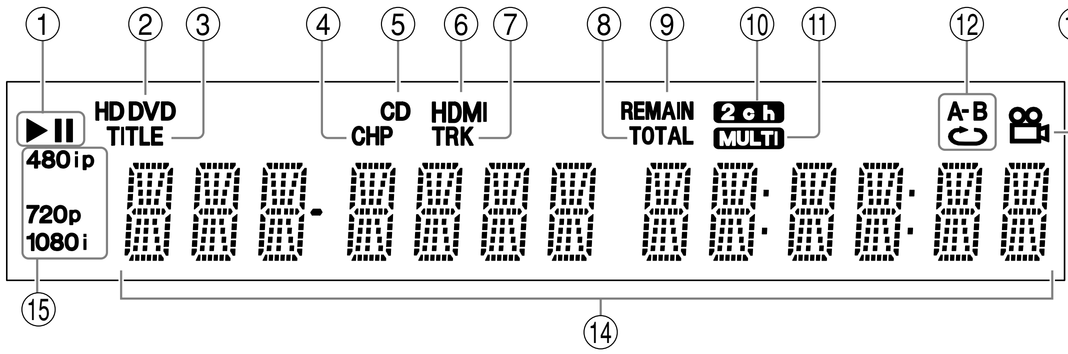
⑨ デジタル音声出力 ビットストリーム／ PCM（光／同軸）端子 23ページ
デジタル音声信号を出力します。デコーダー内蔵AVアンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。光デジタルケーブルを接続するときは、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。

⑩ 5.1CHサラウンド音声出力端子 23ページ
5.1ch音声入力対応アンプと接続します。

⑪ アナログ音声出力（2CH）端子 20ページ
テレビやAVアンプに音声信号を出力します。

各部の名前(つづき)

表示窓



① 再生状態表示
▶ ：再生中
II ：一時停止中

② ディスク表示
HD DVD：HD DVDディスクがはいっているときに点灯します。
DVD： DVDディスクがはいっているときに点灯します。

③ タイトル表示
タイトル番号を表示しているときに点灯します。

④ チャプター表示
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑤ CD表示
CDがはいっているときに点灯します。

⑥ HDMI表示
HDMI出力を選択しているときに点灯します。

⑦ トラック表示
トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑧ トータル表示
ディスクに記録されている総時間を表示しているときに点灯します。

⑨ 残量表示
残量時間を表示しているときに点灯します。

⑩ 2ch表示
音声出力が2チャンネル(L/R)のときに表示します。

⑪ マルチ表示
音声出力が5.1チャンネルのときに表示します。

⑫ リピート表示
リピート再生中に点灯します。

⑬ アングルアイコン表示
マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点灯します。

⑭ 情報表示
ディスクの総合計時間、経過時間、残量、タイトル番号、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑮ 映像出力表示
出力されている映像方式に合わせて表示します。
480i ：D1(480i インターレース)
480p ：D2(480p プログレッシブ)
720p ：D4(720p プログレッシブ)
1080i：D3(1080i インターレース)

■ 表示窓の見かた

表示 ○ 表示窓に表示される内容を、リモコンの「表示」ボタンで切り換えます。ディスクの状態によって表示が切り換わらないことがあります。

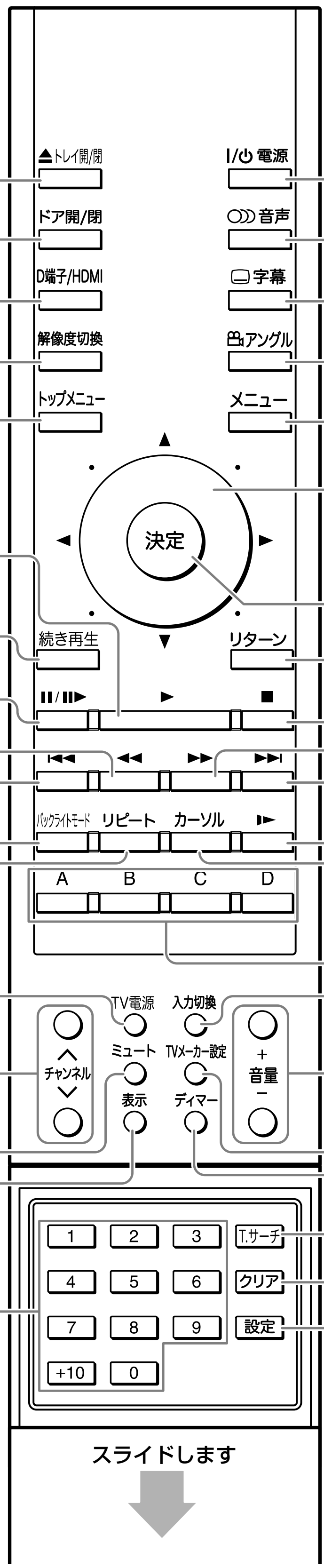
■ 表示窓の明るさを変えるには

リモコンの「ディマー」ボタンを押すたびに表示窓の明るさが切り換わります。

ディマー ○ 普通の明るさ → 減光 → 消灯 →(普通の明るさへ戻る)

・電源を入れ直すと、明るさの設定は解除されます。

リモコン



トレイ開／閉ボタン➪28ページ

ドア開／閉ボタン➪28ページ

D端子／HDMIボタン➪20、21、22ページ

解像度切換ボタン➪20、21、22ページ

トップメニューボタン➪30ページ

再生ボタン➪29ページ

続き再生ボタン➪34ページ

一時停止／コマ送りボタン➪29、33ページ

早戻しボタン➪33ページ

スキップボタン➪33ページ

バックライトモードボタン➪16ページ

リピートボタン➪36ページ

テレビ電源ボタン➪17ページ

テレビチャンネルボタン➪17ページ

テレビミュートボタン➪17ページ

表示ボタン➪39ページ

番号ボタン➪34ページ

電源ボタン➪28ページ

音声ボタン➪31ページ

字幕ボタン➪32ページ

アングルボタン➪32ページ

メニューボタン➪30ページ

方向ボタン➪30、50ページ

決定ボタン➪30、50ページ

リターンボタン➪50ページ*

停止ボタン➪29ページ

早送りボタン➪33ページ

スキップボタン➪33ページ

スローボタン➪33ページ

カーソルボタン➪38ページ

A、B、C、Dボタン➪30ページ

テレビ入力切換ボタン➪17ページ

テレビ音量ボタン➪17ページ

TVメーカー設定ボタン➪17ページ

ディマーボタン➪14ページ

T.サーチボタン➪34ページ

クリアボタン➪34ページ

設定ボタン➪50ページ

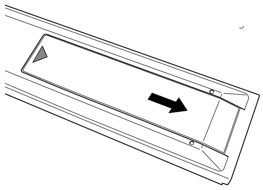
* リターンボタン
市販のソフトディスクを再生中に「リターン」ボタンを押すと、指定された画面に戻ります。ディスク側の説明書もご覧ください。

リモコンの準備と使いかた

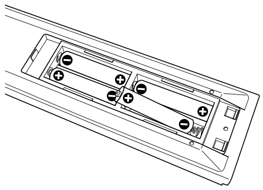
リモコンを準備して、テレビにも使えるように設定しましょう。

リモコンの準備（乾電池を入れる）

1 ふたをはずす

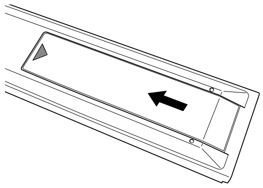


2 乾電池を入れる



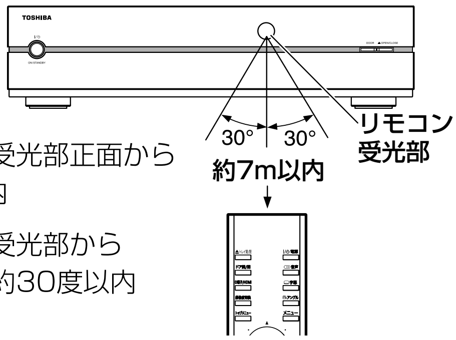
- 単四形乾電池(R03)を4個使用します。
- 乾電池の＋、－を確かめて入れてください。

3 ふたを閉める



リモコンで操作するには

本体に向けてボタンを押す



距離：リモコン受光部正面から約7m以内

角度：リモコン受光部から左右上下約30度以内

お知らせ

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 動作しなかったり、到達距離が短くなったりしたときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

リモコンのバックライトについて

暗い部屋などで使うときに便利なように、ボタンが光るバックライト機能が付いています。

- ボタンを押すと約10秒間光ります。
- リモコンにある程度の振動があったときに約10秒間光ります。（小さな振動で約1秒間光ることもあります。）

■バックライト機能を使わないとき

［バックライトモード］を約3秒以上押しつづける

バックライト機能を使うときは、もう一度「バックライトモード」を約3秒以上押しつづけます。

お知らせ

- お買い上げ時点では、バックライト機能がオンになっています。バックライト機能は電池の消耗を早めます。

本機のリモコンでテレビを操作するときの設定

1 TVメーカー設定 を押したまま、テレビのメーカー番号を番号ボタンで入力する

例：メーカー番号 0001 を入力するには

TVメーカー設定 押したまま 0 → 0 → 0 → 1

メーカー	メーカー番号
東　　芝	0001
松　下 A	6191
松　下 B	6201
日　　立	6281
三　　菱	6291
シャープA	6231
シャープB	1721

メーカー	メーカー番号
日本ビクター	6311
三　洋 A	6341
三　洋 B	6361
ソ ニ ー	6211
N E C	6401
富士通ゼネラル	6371
パイオニア	6261

- メーカーによっては、二つ以上の設定番号があります。本機のリモコンで操作できるように、一つずつ入力してみてください。

2 TVメーカー設定 から指を離す

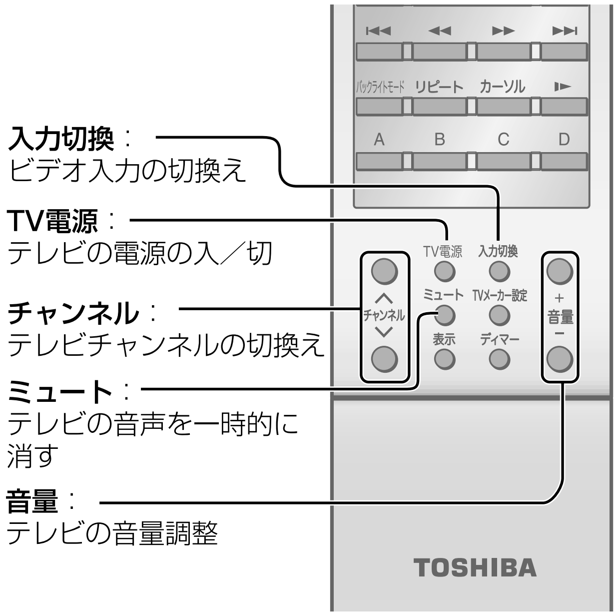
メーカー番号が指定されます。

お知らせ

- 出荷時は東芝のテレビに設定しています。
- リモコンの電池を入れ換えたときは、メーカー番号を設定し直してください。

リモコンでテレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。
本機のリモコンでは以下の操作だけができます。
ほかの操作をするとき、または本機のリモコンで操作できないテレビの場合には、テレビのリモコンをご使用ください。



お知らせ

- お使いのテレビによっては、音量が 1 回のボタン操作で数段階変わることがあります。
- テレビの種類によっては、本機のリモコンで操作できない場合や、一部操作できないボタンがあります。そのときは、テレビ側に付属のリモコンをお使いください。

本書の読みかた

対応ディスクの表記

この取扱説明書では、機能ごとに使えるディスクの種類を、以下のマークで表しています。
（本機で使えるディスクについては、⇨26 ページをご覧ください。）

マーク	ディスク
HD DVD	HD DVDビデオディスク
DVDビデオ	DVDビデオディスク
DVD-RAM	DVD-RAM
DVD-RW	DVD-RW
DVD-R	DVD-R
CD	音楽用CD
CD-RW（CD-DA）	CD-RW（CD-DAフォーマット）
CD-R（CD-DA）	CD-R（CD-DAフォーマット）

操作説明文とボタン

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使いかたも同じです。

2 接　続

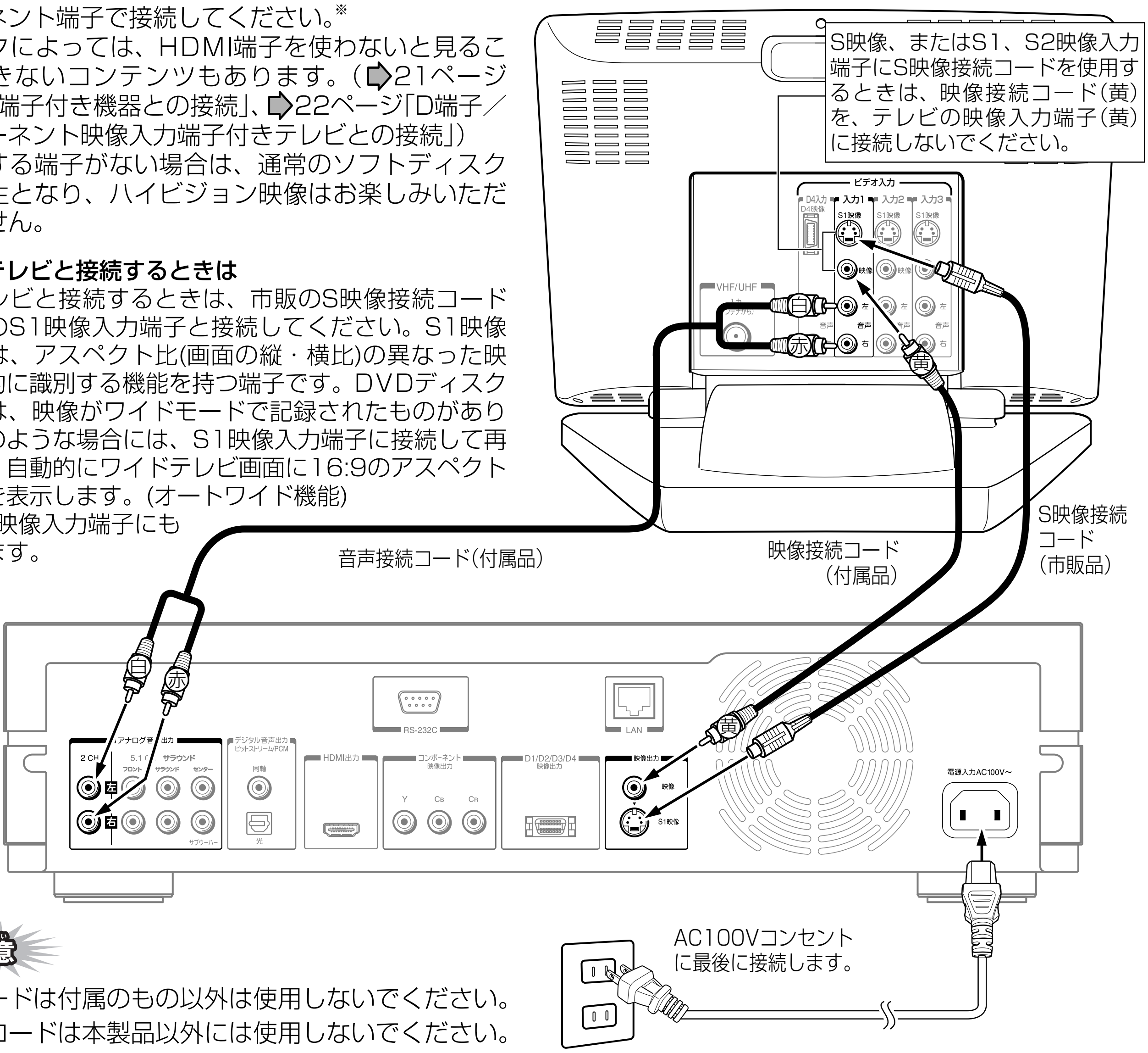
テレビやモニターに接続してみましょう。

テレビとの接続

本機の映像と音声をテレビで楽しむ場合に接続します。

高解像度(480p)およびハイビジョン(720p、1080i)の映像を見る場合には、HDMI端子もしくはD端子／コンポーネント端子で接続してください。※
ディスクによっては、HDMI端子を使わないと見ることのできないコンテンツもあります。(➡21ページ「HDMI端子付き機器との接続」、➡22ページ「D端子／コンポーネント映像入力端子付きテレビとの接続」)
※該当する端子がない場合は、通常のソフトディスクの再生となり、ハイビジョン映像はお楽しみいただけません。

■ワイドテレビと接続するときは
ワイドテレビと接続するときは、市販のS映像接続コードでテレビのS1映像入力端子と接続してください。S1映像入力端子は、アスペクト比(画面の縦・横比)の異なった映像を自動的に識別する機能を持つ端子です。DVDディスクのなかには、映像がワイドモードで記録されたものがあります。このような場合には、S1映像入力端子に接続して再生すると、自動的にワイドテレビ画面に16:9のアスペクト比で映像を表示します。(オートワイド機能)
本機はS2映像入力端子にも接続できます。



注意

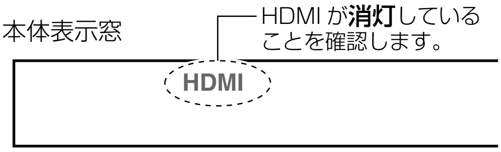
- 電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。
- 本電源コードは本製品以外には使用しないでください。

出力信号の切換え(映像出力(黄)／S1映像出力への切換と解像度の設定)

本機の電源を入れてから(➡28ページ)、以下の設定をしてください。

1 D端子/HDMI を押す(リモコン)

本体表示窓



2 解像度切換 を繰り返し押す(リモコン)

接続したテレビのスキャン方式(D1/480i)に合わせて、本機からの解像度を設定します。
本体表示窓に「480i」を表示させます。

お願い

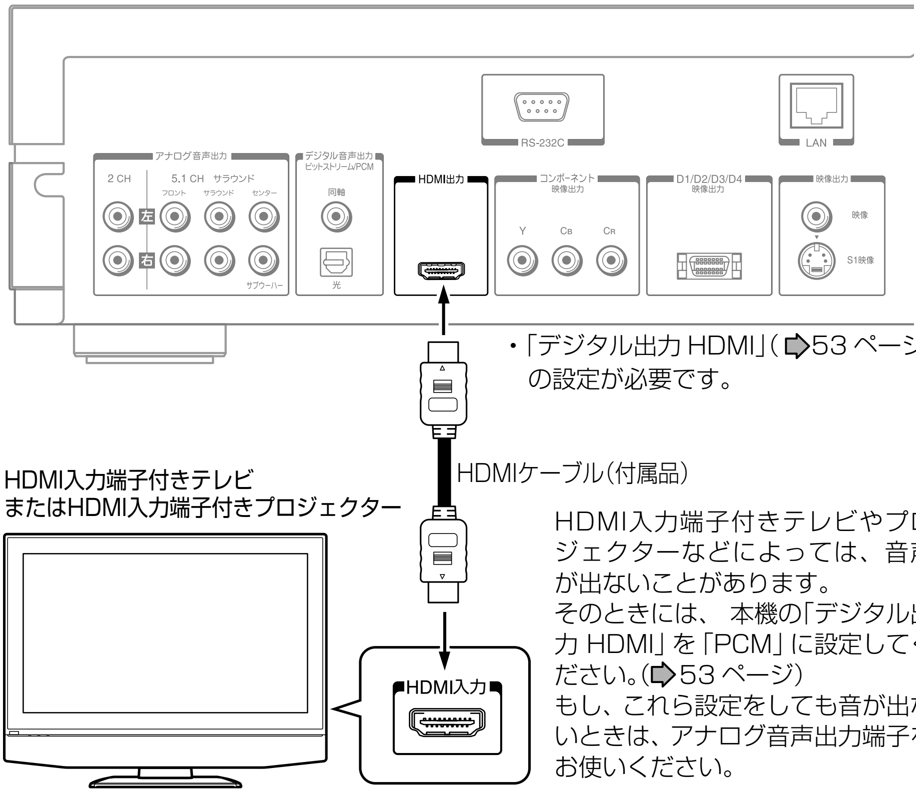
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。

HDMI端子付き機器との接続

HDMIとは、デジタル家電／AV機器間をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス(接続システム)です。HDMI端子付きのテレビやモニター、AVアンプと本機の間を、HDMIケーブルを使って接続することで、デジタル映像／音声信号を高品質のまま伝送することができます。本機のHDMI端子は、HDMI Ver.1.1に対応しています。
高解像度(480p)およびハイビジョン(720p、1080i)の映像を見るには、HDMI端子もしくはD端子／コンポーネント端子(➡22ページ)で接続してください。ディスクによっては、HDMI端子を使わないと見ることのできないコンテンツもあります。 該当する端子がない場合は、通常のソフトディスクの再生となり、ハイビジョン映像はお楽しみいただけません。

ハイビジョン映像をご覧いただくために

ハイビジョン映像とは、出力方式が720p、1080iの映像をいいます。HD DVD、DVDビデオディスクには、コピーコントロール情報、出力解像度制限情報などが含まれており、本機はこれらの情報に準じて映像を出力し、その際に、ハイビジョン映像がD端子では出力できない場合があります。このため、ハイビジョン映像を本来の解像度でご覧になるには、HDMI端子付き機器との接続が必要です。



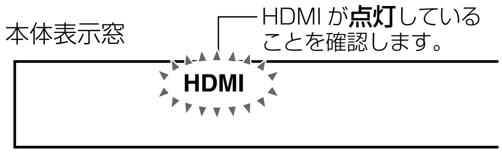
・「デジタル出力 HDMI」(➡53 ページ)の設定が必要です。

HDMI入力端子付きテレビやプロジェクターなどによっては、音声が出ないことがあります。
そのときには、 本機の「デジタル出力 HDMI」を「PCM」に設定してください。(➡53 ページ)
もし、これら設定をしても音が出ないときは、アナログ音声出力端子をお使いください。

出力信号の切り換え(HDMI出力への切換と解像度の設定)

本機の電源を入れてから(➡28ページ)、以下の設定をしてください。

1 [D端子/HDMI] を押す(リモコン)



HDMI表示が点灯しているときに、HDMI出力端子から信号が出力されます。
HDMI出力を選択しているときには、D1/D2/D3/D4映像出力、コンポーネント映像出力、S1映像出力、映像出力(黄)からの映像は表示できません。

2 [解像度切換] を繰り返し押す(リモコン)

接続したテレビのスキャン方式に合わせて、本機から出力される解像度を設定します。
480p、720p、1080iがボタンを押すたびに切り換わり、本体表示窓で確認できます。

- 再生するディスクによっては、「D端子／HDMI」ボタンまたは「解像度切換」ボタンを押したあと、ディスクの最初からの再生になる場合があります。

お知らせ

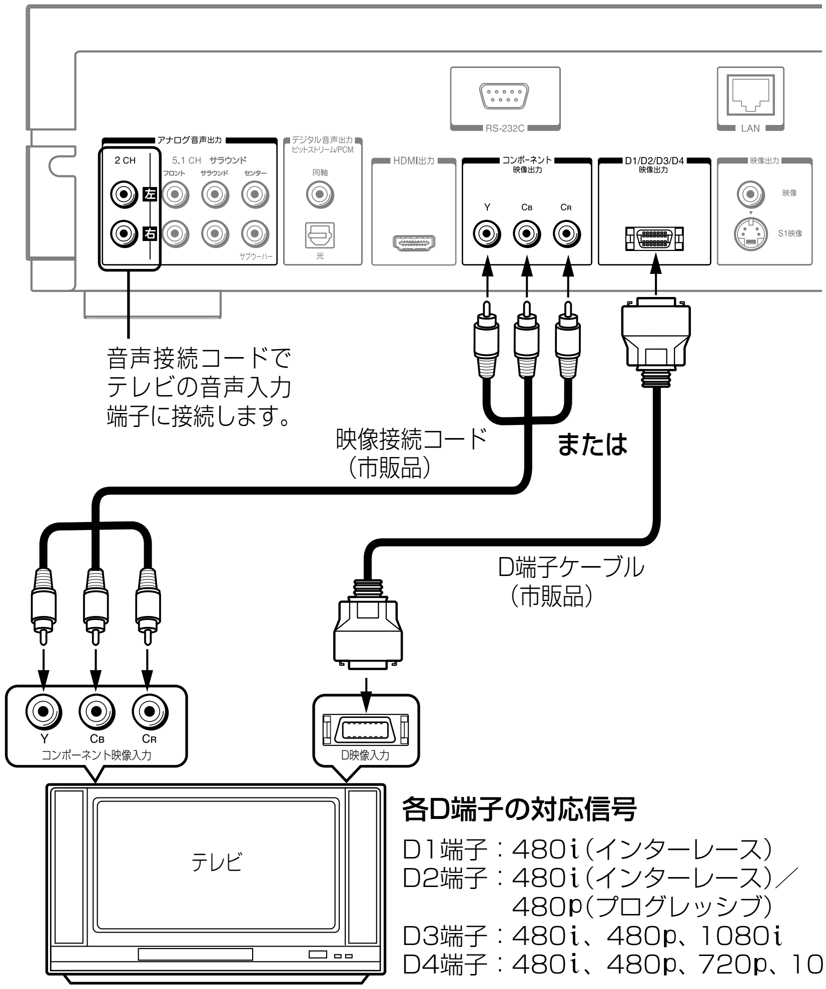
- 本機に接続したテレビやモニターの取扱説明書もよくお読みください。
- HDMIの信号が確認されない場合に、本体表示窓にエラーが表示されることがあります。
  この場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか、接続機器の電源を入れ直してください。
- HDMI出力端子は、DVIアナログには対応していません。
- 本機のHDMI出力端子では、VGAは出力しません。
- HDMIは新しい技術です。今後、HDMIの技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI™)の表示があるケーブルをお使いください。
- 接続するテレビの特性、映像ソースの解像度、本製品の映像出力の解像度の組み合わせによっては、高い解像度の出力が最適ではないこともあります。お好みに合わせて出力の解像度を切り換えてご覧ください。

D端子／コンポーネント映像入力端子付きテレビとの接続

D端子またはコンポーネント映像端子に接続すれば、S端子への接続よりも鮮明な映像でご覧になれます。
高解像度(480p)およびハイビジョン(720p、1080i)の映像を見るには、D端子／コンポーネント端子もしくはHDMI端子(⇨21ページ)で接続してください。

ハイビジョン映像をご覧いただくために

ハイビジョン映像とは、出力方式が720p、1080iの映像をいいます。HD DVD、DVDビデオディスクには、コピーコントロール情報、出力解像度制限情報などが含まれており、本機はこれらの情報に準じて映像を出力し、ディスク製作者側が、D端子もしくはコンポーネント端子からの1080i、720p出力を禁止している場合、D端子／コンポーネント端子の出力は「480p」に自動的に切り換わります。そのため、ハイビジョン映像を本来の解像度(720p、1080i)でご覧になるには、HDMI端子付き機器との接続が必要です。



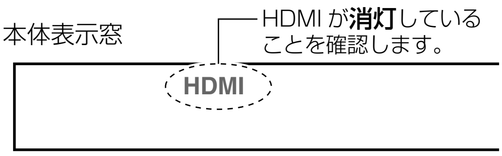
各D端子の対応信号

D1端子：480i(インターレース)
D2端子：480i(インターレース)／480p(プログレッシブ)
D3端子：480i、480p、1080i
D4端子：480i、480p、720p、1080i

出力信号の切り換え(D端子／コンポーネント出力への切換と解像度の設定)

本機の電源を入れてから(⇨28ページ)、以下の設定をしてください。

1 [D端子/HDMI] を押す(リモコン)



HDMI表示が消えているときに、D端子／コンポーネント端子から信号が出力されます。

2 [解像度切換] を繰り返し押す(リモコン)

接続したテレビのスキャン方式(D1～D4)に合わせて、本機から出力される解像度を設定します。
480i、480p、720p、1080iがボタンを押すたびに切り換わり、本体表示窓で確認できます。

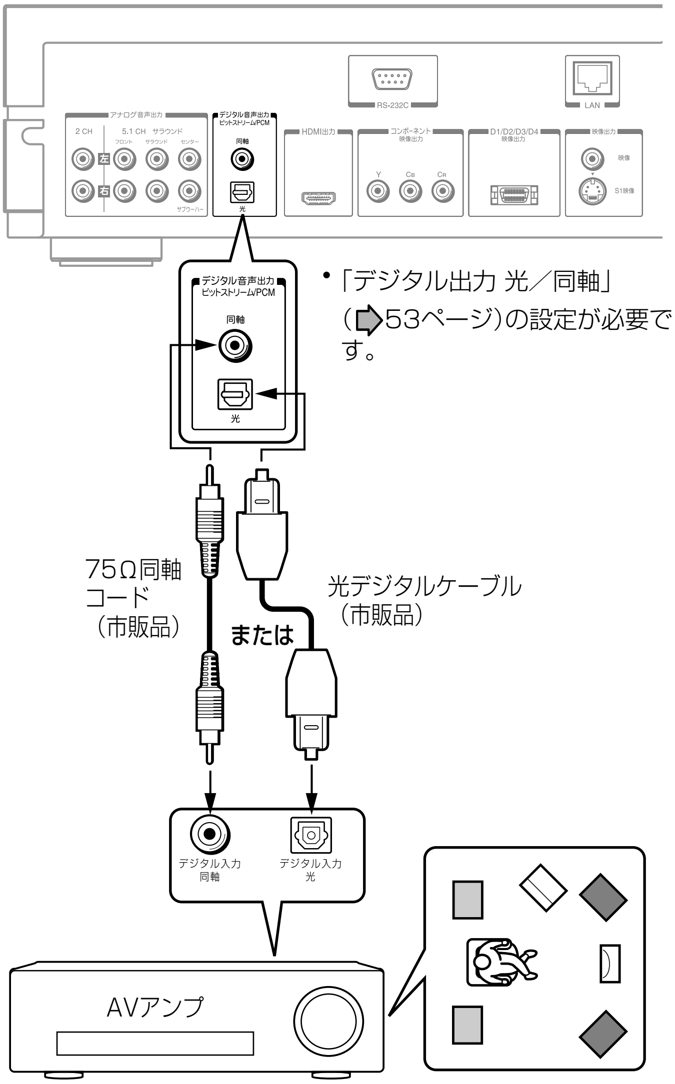
お知らせ

- 「1080i」または「720p」を選択しているときは、映像出力端子(黄)、S1映像出力端子からの映像は表示できません。
- 接続するテレビの特性、映像ソースの解像度、本製品の映像出力の解像度の組み合わせによっては、高い解像度の出力が最適ではないこともあります。お好みに合わせて出力の解像度を切り換えてご覧ください。

AVアンプとの接続

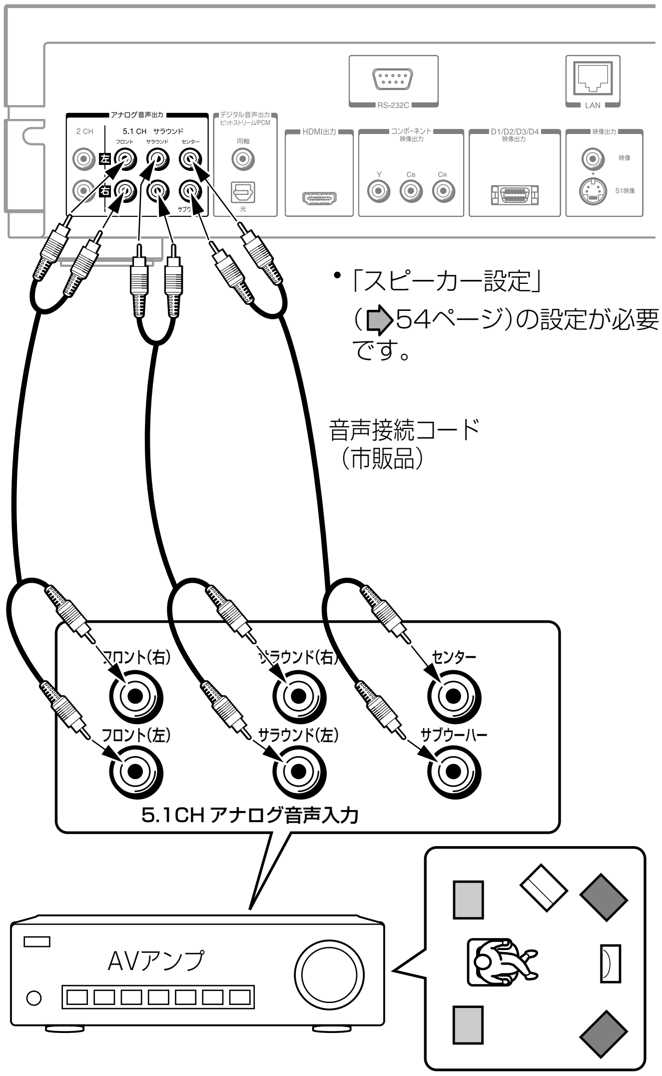
ドルビーデジタル、DTS音声に対応したAVアンプと接続して、5.1chなどのマルチチャンネルサウンドを楽しめます。

デジタル音声出力端子を使う



•「デジタル出力 光／同軸」（➡53ページ）の設定が必要です。

5.1CH アナログ音声出力端子を使う



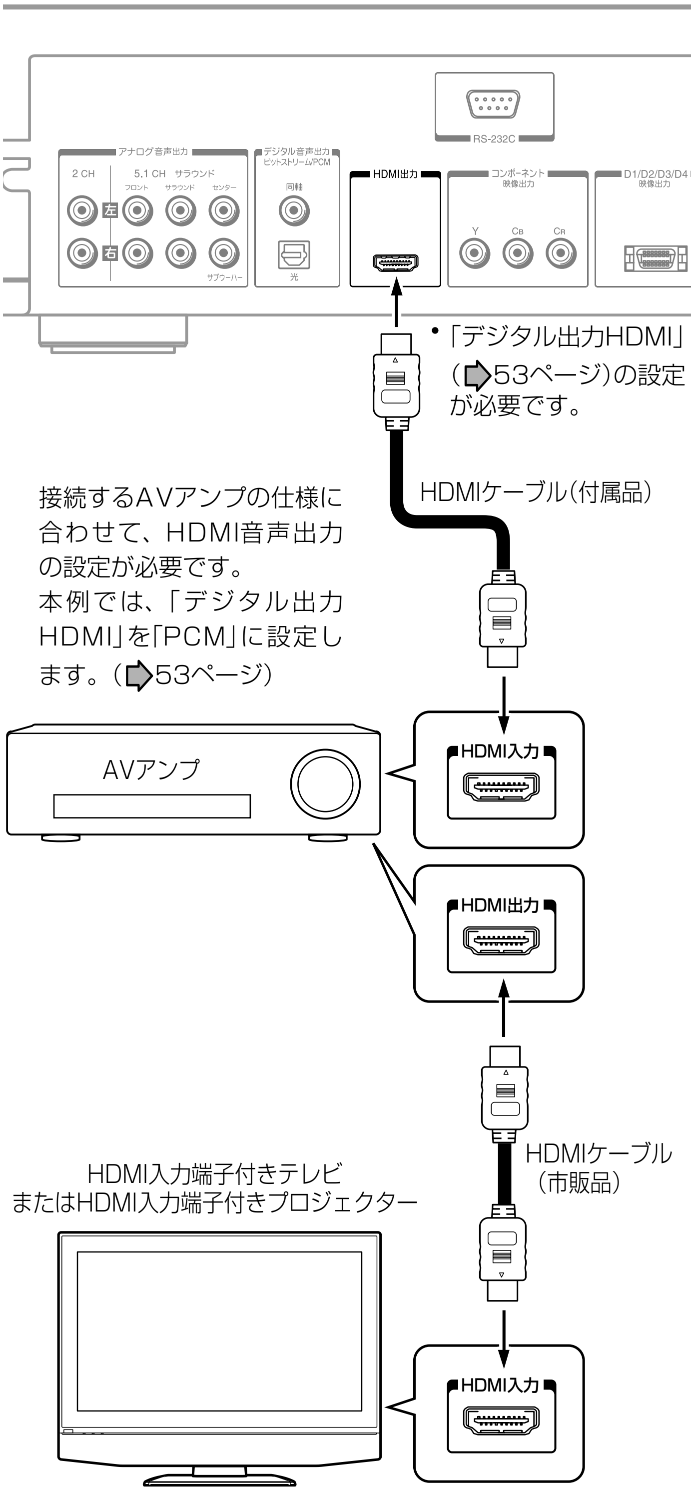
•「スピーカー設定」（➡54ページ）の設定が必要です。

注意

• 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSのデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、「デジタル出力 光／同軸」（➡53ページ）の設定を必ず「PCM」にしてください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。
• デジタル音声出力をお使いになるときは、対応したAVアンプが必要です。

AVアンプとの接続(つづき)

HDMI 出力端子を経由する



注意

- HDMI 出力端子を使って、ドルビーデジタルまたは、DTS デコード機能を持っていない AV アンプと接続するときは、「デジタル出力 HDMI」を「PCM」または「ダウンミックス PCM」に設定してください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

お知らせ

- ドルビーデジタルプラス、DTS-HD（コアストリーム)は、5.1チャンネルのみの対応です。
- DTS-HDはコアストリームのみの対応です。全チャンネルには対応していません。
- ドルビー TrueHDは2チャンネルのみの対応です。

3 再生（基本編）

ディスクを再生してみましょう。

ディスクについて

再生できる市販ディスク

ディスク	内容	
HD DVD ビデオディスク	・12cm／8cm	
DVDビデオ ディスク	・12cm／8cm ・リージョン番号が 2およびALL	本機のリージョン(地域)番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に②のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。
音楽用CD	・12cm／8cm	

その他再生できる記録済みディスク

ディスク	内容
DVD-RAM	・DVD VRモード録画 (CPRM対応ディスクは再生できません。) ・片面4.7GB(12cm) ・両面9.4GB(12cm) ※DVD-RAMカードリッジ付きディスクには対応していません。 カードリッジ付きディスクのなかには、ディスクをカードリッジから外すことができるものがあります。 ディスク側の取扱説明書をご覧ください。
DVD-RW Ver.1.0 を除く	・DVD VRモード録画 (CPRM対応ディスクは再生できません。) ・DVD Videoモード録画 ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。

ディスク	内容
DVD-R DVD-R For DL	・DVD Videoモード録画 ・4.7GB For General ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
CD-RW	・CD-DA(音楽用CD)フォーマット ・MP3ファイル(➡37ページ) ・WMAファイル(➡37ページ) ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
CD-R	・CD-DA(音楽用CD)フォーマット ・MP3ファイル(➡37ページ) ・WMAファイル(➡37ページ) ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。

お知らせ

- 本機で再生できる映像方式は、日本国内でのテレビ放送方式に従っています。
- 上記のディスクでも規格外のディスクなどは、再生できません。
- 上記以外のディスクは再生できません。上記のディスクでもディスクの状態によっては、再生できない場合があります。(上記のディスクすべての再生を保証するものではありません。)
- DVD VRモード2.0には対応していません。
- ブルーレイディスクは再生できません。

ディスクの互換性とその他のお知らせ

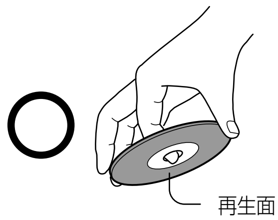
- ●HD DVDは新規格です。ディスクによっては再生できないものもあります。
- ●高解像度の映像コンテンツの再生、あるいは従来画質のDVDをアップコンバート(従来画像の解像度を電子的にHDのレベルまであげることをいいます。)再生をモニターで楽しむ場合は、HDMI入力またはHDCP対応DVIポートのあるモニターが 必要です。
- ●HD DVDディスクまたはDVDビデオディスクの中には一部の操作や機能が使えないものがあります。
- ● ドルビーデジタルプラス、DTS-HD（コアストリームに限る）は、5.1チャンネルのみの対応です。
- ●DTS-HDは、コアストリームのみの対応です。
- ● ドルビー TrueHDは2チャンネルのみの対応です。
- ●ピックアップレンズやディスクの構造上、ディスクによっては本機で使えないことがあります。
- ●CD-R/CD-RWを再生する場合は、CD-DAフォーマットで記録したCD-R/CD-RWをお使いください。
- ●記録フォーマットやファイル構造などによっては、MP3/WMAファイルが再生できない場合があります。（MP3ファイル記録のCD-RWの使用はおすすめできません。）
- ●機能の中には将来的に使用を予定しているものもあります。
- ●本機では、ディスクに関する情報やダウンロード内容を内部のフラッシュメモリーで一時的に記憶します。これらの記憶期間は、お使いのディスクによって異なります。

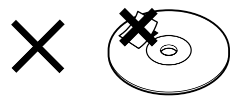
お知らせ

- 本機内部のプログラム（ファームウェア）のアップデート（更新機能）がご利用になれます。（インターネット接続が必要です。）57ページをご覧ください。

ディスクの取扱いかた

- ●再生面には手を触れないでください。
- ●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

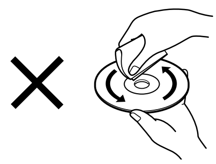




ディスクのお手入れのしかた

- ●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。メガネふきのような柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。





- ●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- ●ディスクの説明書もよくお読みください。

ディスクの保管のしかた

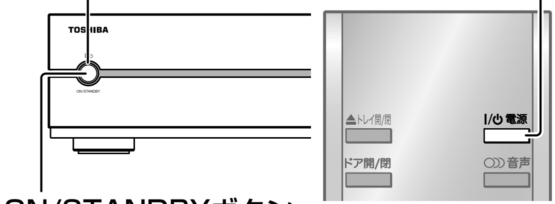
- ●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- ●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
  専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。
- ●ディスクの説明書もよくお読みください。

電源を入れる／ディスクを入れる

電源を入れる

1 **本体 I/⏻「ON/STANDBY」またはリモコン I/⏻電源 を押す**

電源インジケーター　　電源ボタン



ON/STANDBYボタン

電源がはいると、本体の電源インジケーターが、赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。

電源の切りかた

1 **本体「ON/STANDBY」またはリモコン「電源」を押す**

電源が切れて、本体の電源インジケーターが赤（待機状態）になります。

お知らせ

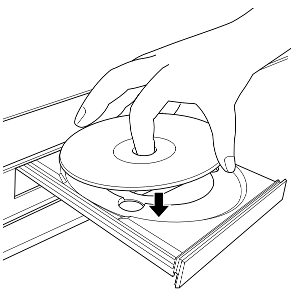
- 本機が操作中に止まってしまい、15分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった場合は、本体の「ON/STANDBY」を約10秒間押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。ただし、これは非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用するときは十分注意して、頻繁な使用は避けてください。

ディスクを入れる

1 **本体 ⏏OPEN/CLOSE または リモコン ⏏トレイ開/閉 を押す**

前面の扉が閉まっているときは、前面の扉が開いてからトレイが出ます。

2 **ディスクを置く**



ラベル面を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

両面ディスクの場合は、再生する面の表示を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

ディスクを置いたら、本体 DOOR ボタンまたは、OPEN/CLOSE ボタンを押す。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、ボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護機能によって自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損することがありますのでご注意ください。
- 万一ディスクがトレイから取り出せなくなった場合は、いったん本機の電源を切ります。その後本体の「OPEN／CLOSE」ボタンを押せば、本機の電源がはいってディスクトレイが開くことがあります。この操作を行なってもディスクが取り出せない場合は、63ページに記載の「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。

■前面扉の開閉

本体 DOOR またはリモコン ドア開/閉 を押す

扉の開／閉ができます。

- 扉の開閉はボタン操作で行ない、扉には直接力を加えないでください。直接触れて開閉すると、故障の原因となります。
- 扉を閉めるときは、EXTENSION端子を接続しないでください。
- 電源を入れた直後などは、扉の開閉ができないことがあります。
- ディスクトレイをあけると、自動的に扉も開きます。

ディスクを再生する

HD DVD	DVDビデオ	CD
DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	



準備

1 テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選ぶ。

2 本機の電源を入れる（⇨28ページ）

1 ディスクを入れ、トレイを閉じる（⇨28ページ）

ディスクの再生が始まります。

●再生が始まらないときは…

［▶］「再生」を押す

HD DVD	DVDビデオ

トップメニューが記録されているディスクは、再生したときにメニュー画面が表示されます。
ディスクによっては、メニュー画面が自動的に表示されず、［トップメニュー］や［メニュー］ボタンを押して表示させる場合があります。
「トップメニューを使って再生する」⇨30ページ

DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

タイトルメニューが記録されているディスクでは、見たい内容を選べるメニュー画面を表示できます。
「記録されているタイトルメニューを使って再生する」
⇨30ページ

CD	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)

再生が自動的に始まります。

再生を停止する

［■］を押す

再生を終了します。

再生を一時停止する

再生中に［II/II▶］を押す

再生が一時停止します。
［▶］「再生」を押すと、普通の再生に戻ります。

お知らせ

- HD DVDディスクやDVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなる場合もあります。これは故障ではありません。

ディスクを再生する（つづき）

トップメニューを使って再生する

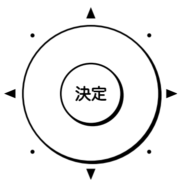
HD DVD　DVDビデオ

DVDディスクには、全体の構成を確かめたり、見たい場面が選べるように、トップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されている場合があります。

1　トップメニュー を押す

トップメニューが表示されます。

2　方向ボタンで再生したいタイトルを選ぶ



トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3　決定 を押す

選んだタイトルのチャプター 1 から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、「決定」を押さずにもう一度「トップメニュー」を押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。
- ディスクによっては「トップメニュー」ではなく「メニュー」を押してメニューを表示するものもあります。

記録されているタイトルメニューを使って再生する

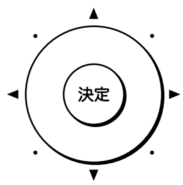
DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

一般のDVDレコーダーなどで録画されたディスクには、タイトルメニューが記録されているものがあります。見たい内容を選ぶためのメニュー画面です。

1　トップメニュー または メニュー を押す

録画内容が一覧表示されます。

2　方向ボタンで再生したいタイトルを選ぶ



3　決定 を押す

選んだタイトルの再生が始まります。

お知らせ

- メニュー画面は、録画したDVDレコーダーやディスクによって表示が異なります。
また、ディスクによっては、メニュー画面が表示されない場合もあります。
- DVD VRモードで記録されたディスクでは、録画内容のサムネイル表示はできません。リストだけ表示されますので、方向ボタンで見たい番組を選び、「決定」を押してください。

リモコンのA、B、C、Dボタンを使う

HD DVD

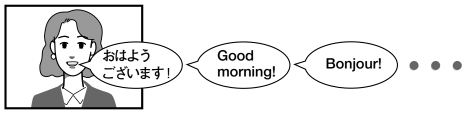
HD DVDディスクを再生中、画面上でボタンを使う指示が表示されたときに使用します。ディスクの内容によってボタン操作の内容が変わります。



音声の切換

HD DVD　DVDビデオ

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や音声方式に切り換えられます。



1 再生中に、音声 を押す

例

音声：　日本語　1

現在の音声設定を表示します。
音声の種類は、音声によってコードで表示される場合があります。そのときは言語コード表(58ページ)と照し合わせてください。

2 音声設定の表示中に、音声 を押す

ディスクに記録されている音声が切り換わります。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、「DVD音声言語」で設定した音声になります(55ページ)。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVD VRモードで記録されたディスクの音声切換

DVD-RAM　DVD-RW　(DVD VRモード)

DVD VRモードで記録されたディスクは、以下のように音声を切り換えてください。

1 再生中に、音声 を押す

- 現在の音声設定が表示されます。
- 言語名がコードで表示される場合は、言語コード表(58ページ)と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、音声 を押して好きな音声を選ぶ

ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わりかたが異なります。

● DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

ステレオ音声の番組

「L＋R」(左の音声と右の音声)→「L」(左の音声)→「R」(右の音声)→「L＋R」(左の音声と右の音声)に戻る

二重音声の番組

「L＋R」(主音声＋副音声)→「L」(主音声)→「R」(副音声)→「L＋R」(主音声＋副音声)に戻る

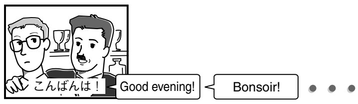
ディスクを再生する（つづき）



字幕の表示と切換

HD DVD　DVDビデオ

字幕が記録されているディスクでは、再生画面に字幕を表示できます。複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。



1 再生中に、［字幕］を押す

・現在の字幕設定を表示します。

例

字幕：　日本語　1

言語名は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（➡58ページ）と照らし合わせてください。
・ディスクによっては、言語名が表示されないものもあります。

方向ボタン◀/▶で「入」「切」が切り換わります。字幕を見るときは「入」にします。

2 字幕設定の表示中に、［字幕］を押す

字幕言語が切り換わります。
表示されない字幕言語は、ディスクに記録されていません。

お知らせ

• ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
• 再生している場所によっては、字幕を選んでもすぐには表示されないことがあります。
• ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。
• 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、「DVD字幕言語」で設定した言語になります（➡54ページ）。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
• 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

アングルを変えて見る

HD DVD　DVDビデオ

複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、その中から好きなアングルに切り換えられます。

1 再生中に、［アングル］を押す

・マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。表示中に好きなアングルに切り換えることができます。

アングル　1／6　— アングルアイコン
記録されているアングルの総数
見ているアングルの番号

2 アングル番号の表示中に、［アングル］を押して、好きなアングルを選ぶ

お知らせ

• 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生を始めてからアングルが切り換わります。
• アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、映像のアングルが切り換わらないことがあります。

いろいろな速さで再生する

HD DVD	DVDビデオ	CD
DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	

コマ送り

再生中に ⏸/⏯ を押す

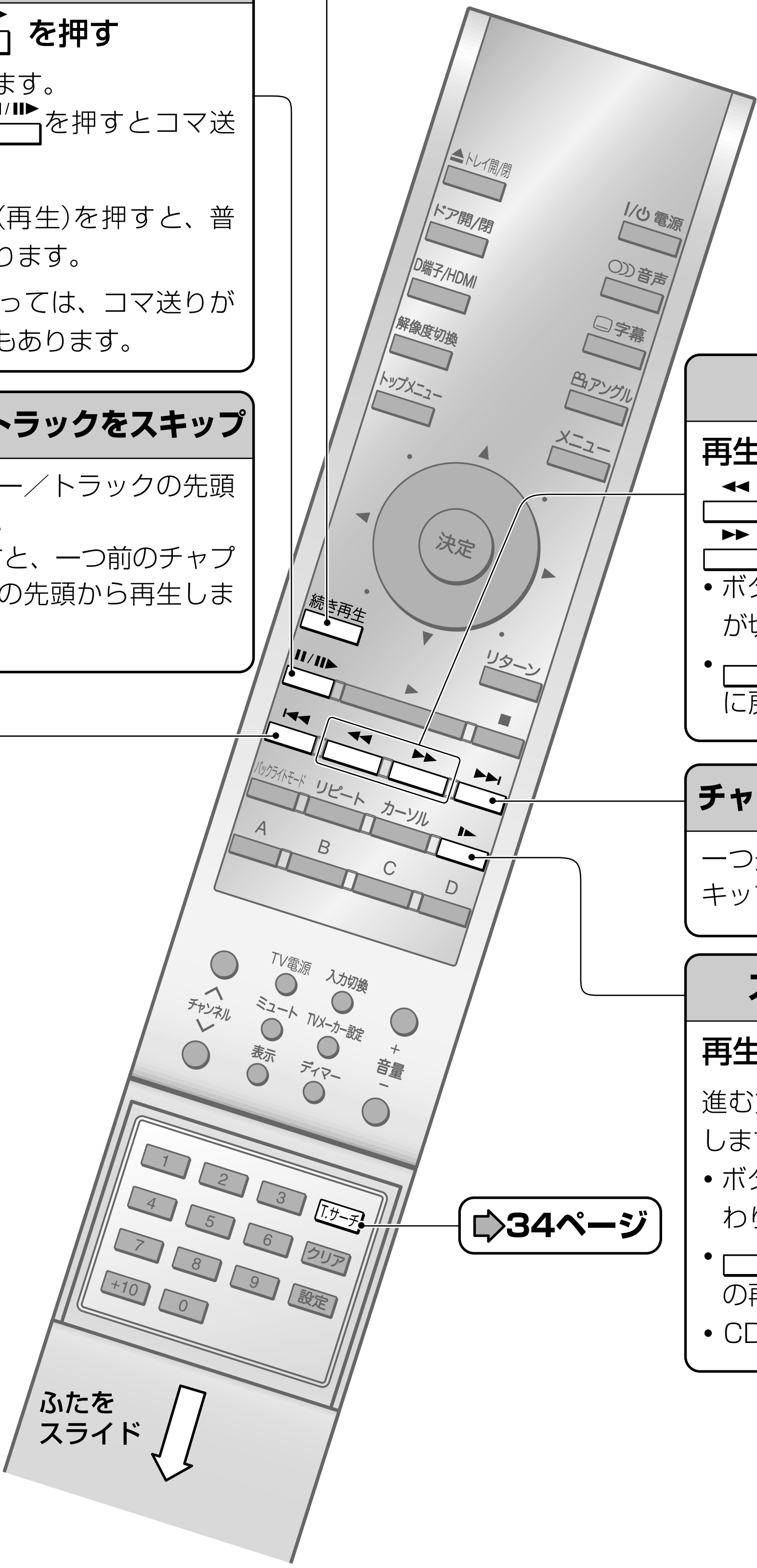
一時停止になります。
一時停止中に ⏸/⏯ を押すとコマ送りします。

- ▶（再生）を押すと、普通の再生に戻ります。
  ディスクによっては、コマ送りができないものもあります。

チャプター／トラックをスキップ

現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
続けて 2 回押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

⇨34ページ



早送り／早戻し

再生中に、◀◀ / ▶▶ を押す

◀◀：早戻しをします。
▶▶：早送りをします。

- ボタンを押すたびに、再生する速さが切り換わります。
- ▶ を押すと、普通の再生に戻ります。

チャプター／トラックをスキップ

一つ先のチャプター／トラックにスキップし再生します。

スローモーションで再生

再生中に ⏯ を押す

進む方向のスローモーションで再生します。

- ボタンを押すたびに、速さが切り換わります。
- ▶（再生）を押すと、普通の再生に戻ります。
- CD では操作できません。

⇨34ページ

いろいろな速さで再生する(つづき)

番号を指定して頭出しする(頭出しサーチ)

HD DVD	DVDビデオ	CD	DVD-RAM	DVD-RW
DVD-R	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)		

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、通常順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。

1 T.サーチ を繰り返し押して、入力したい項目を選ぶ

例：頭出ししたいチャプターを入力する

サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 --:--:--
↓ タイトル番号入力
サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 --:--:--
↓ チャプター番号入力
サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 --:--:--
↓ 経過時間入力（右記参照）
表示が消えます。

- ディスクによって表示は変わります。

方向ボタン ◀/▶ でカーソルの位置が変わります。

2 番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する

例：チャプター／トラック番号25を入力するには

2 → 5 の順に押す

- 「クリア」を押すと、入力した番号の表示が消えます。設定画面を消すときは、「T.サーチ」を数回(ディスクの種類によって異なります)押してください。

3 決定 を押す

選んだ箇所から再生がはじまります。
ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。

経過時間を指定して頭出しする(タイムサーチ)

HD DVD	DVDビデオ	CD	DVD-RAM	DVD-RW
DVD-R	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)		

1 T.サーチ を押す

ディスクの種類で押す回数が異なります。
カーソルが「-- -- --」の位置に移動するまで押してください。

例 サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 --:--:--

2 番号ボタンを押して、時間を入力する

例：1時間25分30秒を入力するには

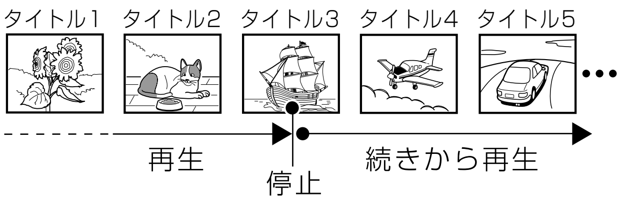
1 → 2 → 5 → 3 → 0

- 「クリア」を押すと、入力した項目の時間表示がリセットされます。

3 決定 を押す

指定したところから再生がはじまります。
ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。

最後に止めた位置から再生する(続き再生)



再生を中断しても、その続きから再生できます。

再生を止めたあと、続き再生 を押すと、止めた続きが再生されます。
再生を止めたあと、■ を押すと、続き再生が解除されます。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 設定画面で、「DVDディスクメニュー」(➡54ページ)や「パレンタルロック」(➡56ページ)の設定をしたとき
  - ディスクトレイを引き出したとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 続き再生中に設定画面を使って設定を変えることはできますが、続き再生中は変更した内容を確定できません。続き再生を解除したあとに設定されます。
- ディスクやシーンによっては、この機能が働かない場合があります。
- 「続き再生」ボタンで使用できる機能は、ディスクによって異なります。

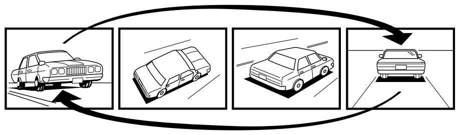
4 再生（応用編）

いろいろな再生や、その他の機能について説明しています。

繰り返し再生（リピート再生）

	DVDビデオ	CD
DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R
CD-RW（CD-DA）	CD-R（CD-DA）	

タイトル、チャプター、トラックなど再生したい部分だけを繰り返し再生できます。





1 リピート を押す

繰り返し再生の種類が表示されます。

2 方向ボタン(▲ / ▼)で、繰り返し再生の種類を選ぶ

ディスクやコンテンツの状態で、繰り返し再生の種類が変わります。

例

特殊再生モード
- オールリピート
- タイトルリピート
- チャプターリピート
- A-Bリピート
- リピート解除

「決定」を押すと、リピート再生が解除されます。

オールリピート：
ディスク全体をリピートします。
（DVD VR モードで記録されたディスクはリピートできません。）

タイトルリピート：
同じタイトルをリピートします。

チャプターリピート：
同じチャプターをリピートします。

トラックリピート：
同じトラックをリピートします。

ディスクリピート：
ディスク全体をリピートします。

A-Bリピート：
指定区間をリピートします。
この項目を選んだあとに、「決定」を押します。
下の1）と2）を行ないます。手順3は不要です。

ⒶⒷ リピート　A点指定

1) 上の表示が出ている間に、リピートしたい開始地点で「決定」を押す

B点設定の設定表示に変わります。

ⒶⒷ リピート　B点指定

2) リピートの終了地点で「決定」を押す

指定したA地点とB地点の間をリピート再生します。

3 決定 を押す

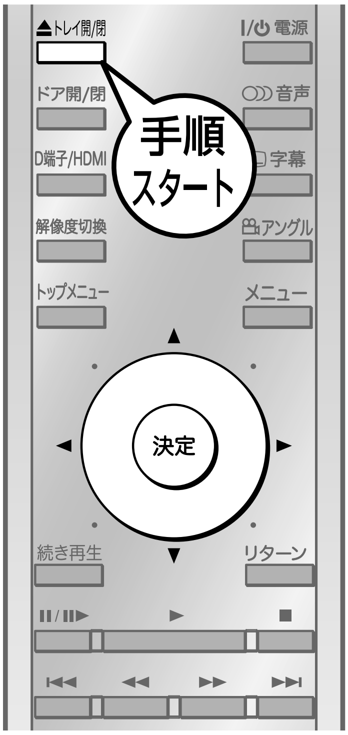
繰り返し再生が始まります。

お知らせ
- ディスクによっては、この機能が働かないものがあります。
- 繰り返し再生は、「停止」を押して再生を止めても解除されます。

MP3/WMAファイル対応CDの再生

CD-RW (CD-DA) | CD-R (CD-DA)

CD-RWまたはCD-Rに記録されたMP3/WMAファイルの再生ができます。



1 MP3/WMAファイルが記録されているディスクを入れ、トレイを閉じる

メニュー画面が表示されます。

ディスクに記録されているファイルの状態によっては、自動的に再生が始まるものもあります。

2 方向ボタン（▲/▼）で、再生したいファイル名を選ぶ

3 決定 を押す

再生が始まります。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護されているWMAファイルは、再生できません。
- ビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子から出力されるMP3/WMAファイルの音声は、「デジタル出力 光／同軸」の設定（➡53ページ）に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。
- 表示されるファイル名は、ファイル名の長さによって、すべて表示されない場合があります。

再生できる MP3/WMA ファイル

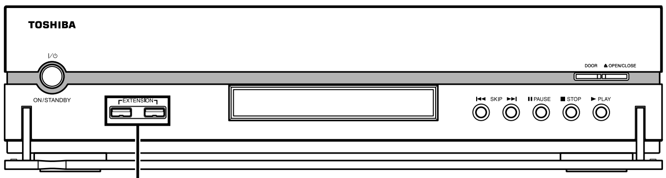
ディスクの種類： CD-RW、CD-R
サンプリング周波数： 44.1kHz
ビットレート： WMA：48kbps～192kbps
MP3：32kbps～320kbps
フォーマット： MODE 1
ファイルシステム： ISO9660レベル 1
ファイル名(MP3)： 半角英数字で、拡張子「MP3」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.mp3」）
“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,” など、特殊な文字が使われていないこと。日本語（2バイト文字）のファイル名がついたファイルは再生できません。
50バイト以下
ファイル名(WMA)： 半角英数字で、拡張子「WMA」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.wma」）
“?!><+*}{`[@]:;¥ /.,” など、特殊な文字が使われていないこと。日本語（2バイト文字）のファイル名がついたファイルは再生できません。
50バイト以下
ファイルの総数： 650以下
WMAコーデック方式版： V7、V8、V9（ステレオサウンドのみ）

インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますので、ご注意ください。

EXTENSION端子について

HD DVD

ディスクの機能によっては、EXTENSION端子にUSBゲームコントローラーを接続して、いろいろな機能をお使いになれる場合があります。これらの拡張機能は、将来サポート予定です。

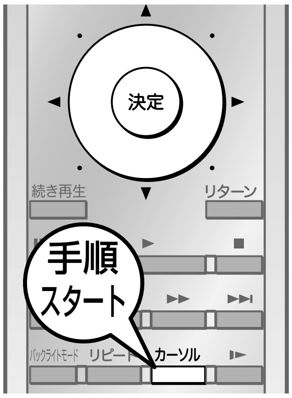


EXTENSION端子

カーソル機能を使う

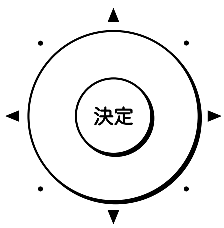
HD DVD

市販のHD DVDのディスクのなかには、ゲームやお絵書きソフトなどがあります。ソフトによっては、カーソル機能を使う場合があります。

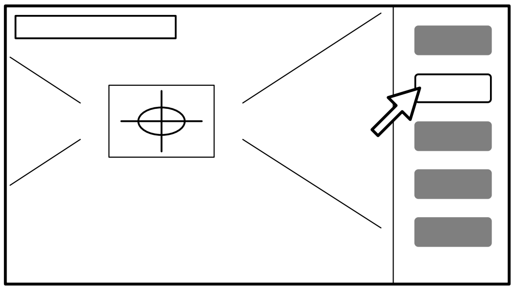


1 カーソル機能を使う専用ディスクを再生中に、［カーソル］を押す

2 方向ボタン(8方向)を使ってカーソルを操作する



例：ゲーム／お絵書きソフト



ゲームの標的や選択アイテムを選ぶときにカーソルを動かします。
実際の操作は、ディスク側の取扱説明書もご覧ください。
この機能はディスク側の仕様によって異なります。

動作と設定の状態を画面で確認する

HD DVD	DVDビデオ	CD
DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	

再生している状態やディスクの種類に合わせて、現在の状態を表示します。

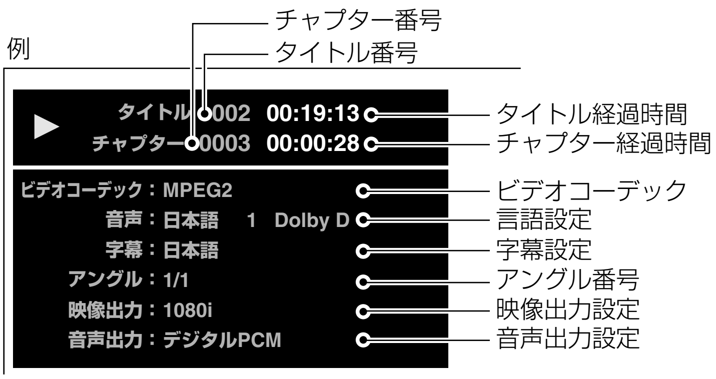


1 表示 を押す

以下のような表示が出ます。
（ディスクによって内容は異なります。）

HD DVD	DVDビデオ	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

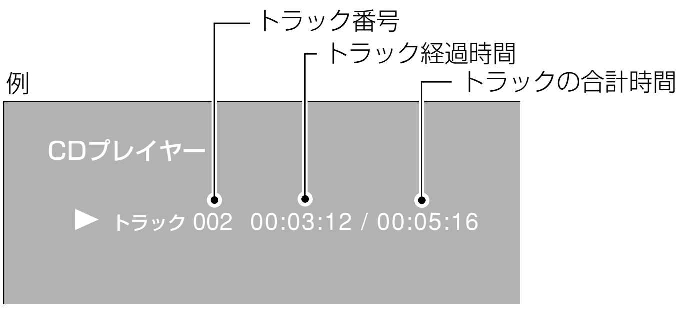
例



※字幕や音声設定は、言語コードで表示される場合があります。
（➡58ページ）

CD	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)

例



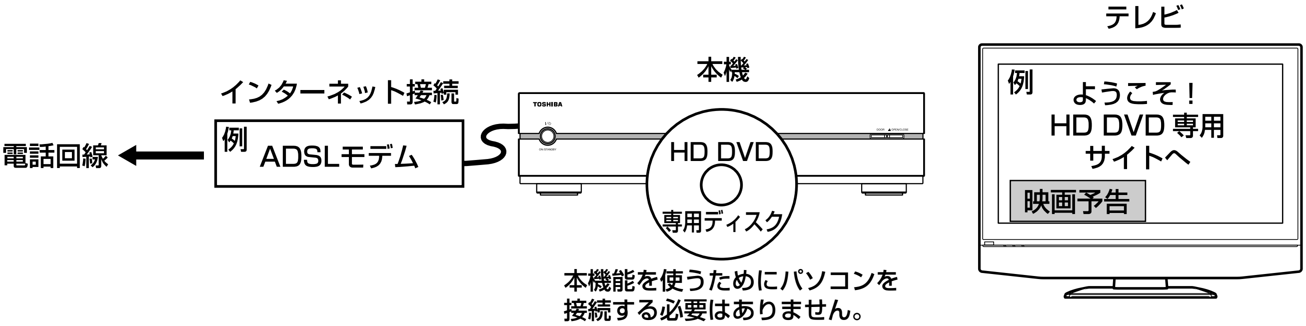
5 ネット機能

常時接続環境のネットワークに接続して
専用のコンテンツを利用してみましょう。

ネット機能を使う（ネット機能の概要）

●HD DVDディスクのなかには、本機をブロードバンド常時接続の環境でインターネット接続しておくと、HD DVD専用サイトなどに直接アクセスできるものがあります。
例えばHD DVD専用サイトなどで、映画などの予告編などがあれば、その内容をインターネットを通じて本機でご覧になれます。

●専用サイトからは、本機を制御するプログラム（ファームウェア）の最新版がダウンロードできます。（57ページ）



お使いになる前に

- 本機をお使いになる前に、以下の免責事項、制限事項などをよくお読みください。
- ネットワーク接続環境として、ブロードバンド常時接続の環境が必要です。
- インターネット機能の使用可能なHD DVDディスクが必要です。この機能はディスク側の仕様によって異なります。ディスクの仕様によっては、ネットワーク機能がないディスクもあります。

ネットワーク接続環境

ブロードバンド常時接続の環境。

お知らせ

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。
また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

免責事項

- 本機能によって接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金·通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によっての内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

制限事項

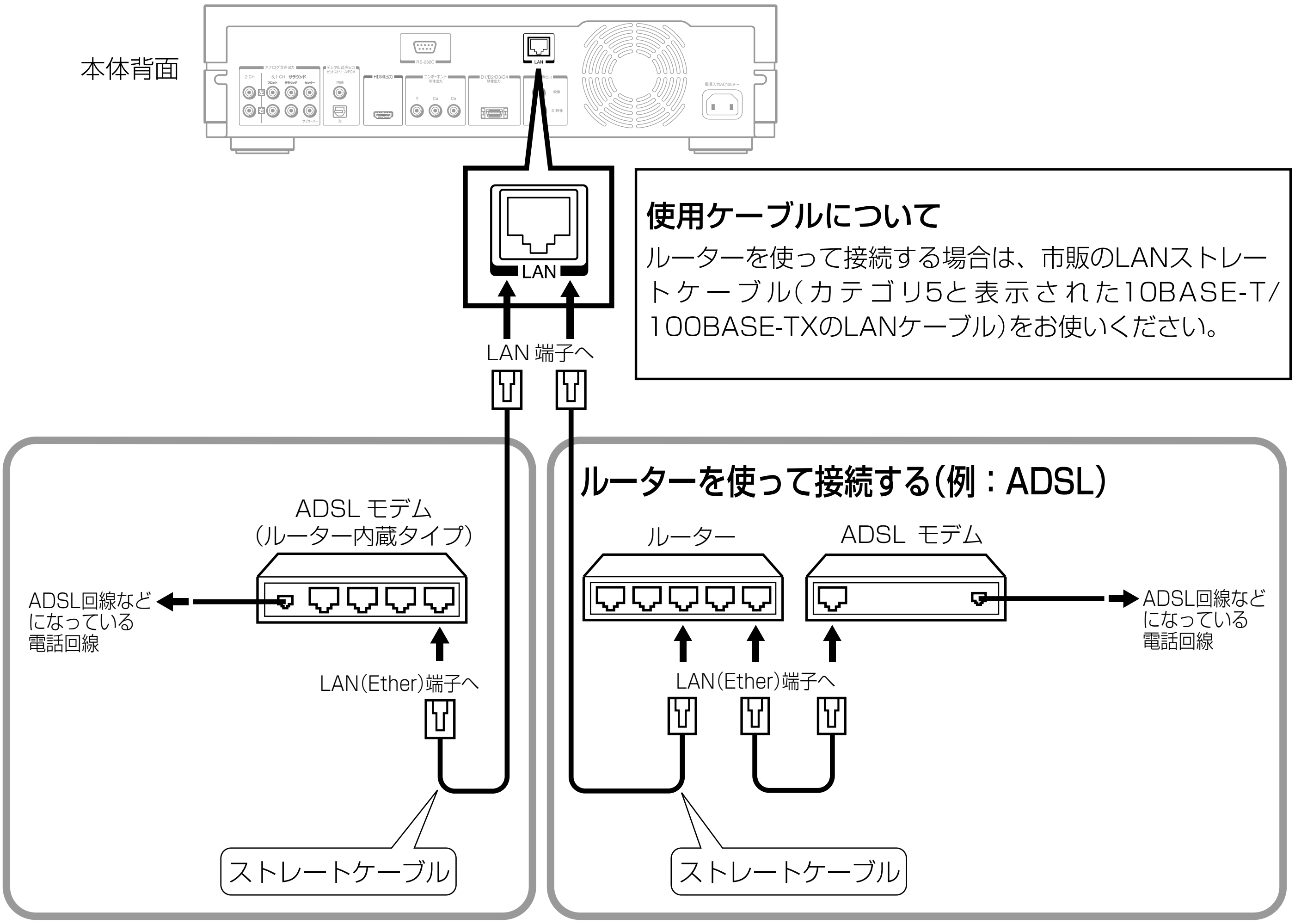
- 本機能は、本機が動作状態のときにだけ使用できます。
- 有線のLAN接続が家庭の環境で困難な場合は、無線LANアクセスポイントと本機につなぐ無線LANイーサネットアダプタ(市販品)をお使いください。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。なお、プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に10BASE-Tまたは、100BASE-TXのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります)
- プロバイダによってはルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ブロードバンド常時接続する場合は、カテゴリー５と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。

ネット機能を使う（接続と設定）

HD DVD

本機をブロードバンド常時接続の環境でインターネットに接続します。
HD DVD専用サイトへのアクセスのほかに、本機を制御するプログラム（ファームウェア）の更新がある場合に利用できます。

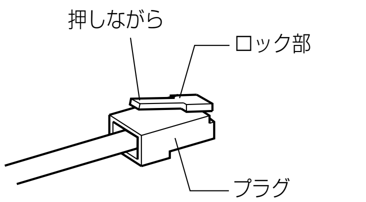
接続方法



使用ケーブルについて

ルーターを使って接続する場合は、市販のLANストレートケーブル（カテゴリ5と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブル）をお使いください。

注意



- LANケーブルの抜き差しは、プラグを持って行なってください。
  抜くときは、LANケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。
- LAN端子に電話のモジュラーケーブルを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- CATVインターネット、Bフレッツ等も使用できますが、さまざまな接続形態がありますので、回線業者やプロバイダの指示に従ってください。

お知らせ

- プロバイダによって、インターネットに接続できる機器の台数が制限されている場合があります。詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

設定手順（概要）

ステップ1 [DHCP]の設定をする

● [DHCP]を[入]に設定します。
ネットワーク接続に必要な情報を自動的に取得します。

● [DNS]を[入]に設定します。
DHCPサーバーから自動的にDNSサーバーアドレスが取得されます。

[DHCP]を[入]に設定しても接続できない場合…
● [DHCP]を[切]に設定します。
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。

● [DNS]を[切]に設定します。
DNSサーバーアドレスを手動で設定します。

ステップ2 プロキシの設定をする

使用しているプロバイダーでプロキシの設定が必要な場合に、この設定をします。

ステップ3 NTPサーバーの設定をする

専用のサーバーに本機が自動的にアクセスし、ネットワークタイムプロトコルを使って時刻を調整します。

ステップ1 [DHCP]の設定

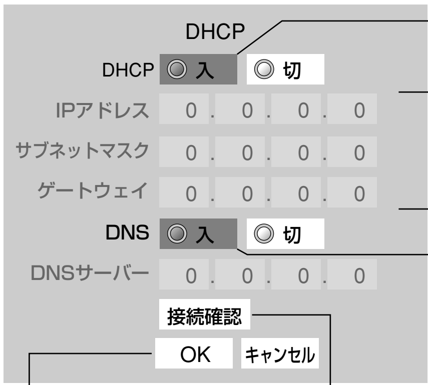
1 [設定] を押す

設定画面が表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で「イーサネット設定」を選び、(決定) を押す

3 方向ボタン(▲/▼)で「DHCP」を選び、(決定) を押す

画面上で設定してください。



1) [入]を選び、(決定)を押す。

設定不要

2) [入]を選び、(決定)を押す。

3) (決定)を押すと、接続確認が始まります。接続に成功するとIPアドレスが表示されます。

もし、IP アドレスが表示されず、接続に失敗したら

・画面上の[DHCP]を[切]にして、(決定)を押す

IP アドレスを数字ボタンで入力する。 ネットワークにパソコンが接続されている場合、パソコンと同じサブネット内の異なるアドレスを設定します。 例：パソコンの IP アドレスが 192.168.1.10 の場合、本機を 192.168.1.15 に設定します。
サブネットマスクを数字ボタンで入力する。 接続するネットワーク環境のサブネットマスクを設定します。 例：255.255.255.0
ゲートウェイを数字ボタンで入力する。 本機がゲートウェイを使う場合に設定します。

・画面上の[DNS]を[切]にして、(決定)を押す

DNS サーバーのアドレスを数字ボタンで入力する。 本機が DNS を使う場合に設定します。 例：192.168.1.1

4) 設定が終了したら、[OK]を選び、(決定)を押す。
設定画面が消えます。

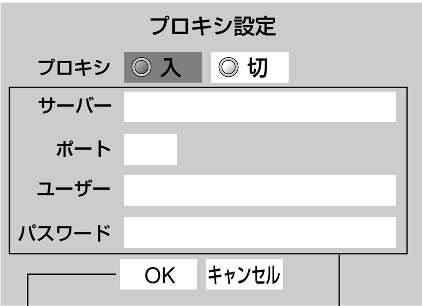
ネット機能を使う(接続と設定)(つづき)

ステップ2 プロキシの設定

使用しているプロバイダーでプロキシの設定が必要な場合に、この設定します。

1 [イーサネット設定]メニュー上で、[プロキシ設定]を方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定)を押す

2 プロキシ[入]を選び、(決定)を押す



それぞれプロバイダーからの指定のデータを入力します。

1)方向ボタン(▲/▼)で入力する項目を選び、(決定)を押す

2)方向ボタン(▲/▼)で入力し、方向ボタン(◀/▶)で、けたを変更する

3)入力を終了したら、(決定)を押す
同じ要領で他の項目も設定してください。

設定が終了したら、[OK]を選び、(決定)を押す。
設定画面が消えます。

ステップ3 NTPサーバーの設定をする

専用のサーバーに自動的にアクセスして、本機の時刻を調整します。

1 [イーサネット設定]メニュー上で、[NTPサーバー]を方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定)を押す

2 方向ボタン(▲/▼)で「入」「切」のどちらかを選び、(決定)を押す

入：専用のサーバーに本機が自動的にアクセスして、ネットワークタイムプロトコルを使って時刻を調整します。

切：時計サーバーを使いません。

■Macアドレスの表示をする

本機のMacアドレスを表示します。
Macアドレスは、機器にあらかじめ割りあてられているため変更できません。

1) [イーサネット設定]メニュー上で、[Macアドレス]を方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定)を押す

Macアドレスが表示されます。

お知らせ

- ルーターのDHCP機能がうまく働かない場合(その場合ゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが取得できずエラーになります。)は、ルーターのメーカーにお問い合わせください。
- 本機を制御するプログラム(ファームウエア)のダウンロードは➡57ページをご覧ください。

ネット機能を使う（実際に操作してみる）

HD DVD

HD DVDディスクのなかには、HD DVD専用サイトなどにアクセスできるものがあります。専用サイトで映画などの予告編などがあれば、その内容をインターネットを通して、本機でご覧になれます。



準備 本機がインターネットにアクセスするための接続と設定を、あらかじめ行なってください。(⇨44ページ～46ページ)

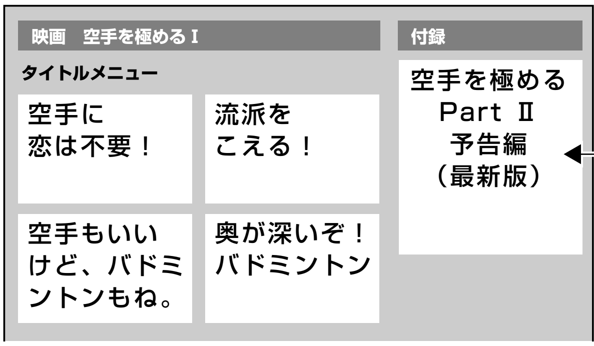
1 HD DVDディスクを入れ、トレイを閉じる

ディスクの再生が始まります。
再生が始まらないときは、［▶］「再生」を押します。

2 メニュー画面で、操作したい項目を選ぶ

- メニュー画面が表示されないときは、［トップメニュー］または［メニュー］を押してください。
- 項目を選ぶときは、方向ボタンで選び、［決定］を押します。
- ディスクによっては、カーソル機能を使う場合があります。(⇨38ページ)

例



たとえば、最新版の予告編をインターネットを通して、本機で見られます。

実際の操作は、ディスク側の取扱説明書もご覧ください。

■ディスクによっては、ユーザー名／パスワードを入力する必要があります。入力については、次のページをご覧ください。

ネット機能を使う（実際に操作してみる）（つづき）

ユーザー名／パスワードを設定する

HD DVD

HD DVDディスクのなかには、ユーザー名／パスワードの設定をしないと働かない機能もあります。
その場合は、以下の方法で設定をしてください。



1 設定 を押す

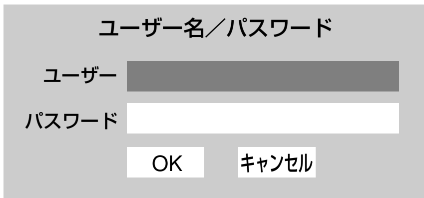
セットアップメニューが表示されます。

2 方向ボタン（▲ / ▼）で「イーサネット設定」を選び、決定 を押す

3 方向ボタン（▲ / ▼）で「ユーザー名／パスワード」を選び、決定 を押す

入力画面が表示されます。

4 [ユーザー]を選び、決定 を押す



方向ボタン（▲/▼）で入力し、方向ボタン（◀/▶）で、けたを変更します。
入力を終了したら、決定 を押す

5 「パスワード」を選び、決定 を押す

手順4と同じ方法で、パスワードを入力します。
パスワードは、簡単に他人に知られることのないようにしてください。
入力を終了したら、決定 を押す

6 [OK]を選び、決定 を押す

設定画面が消えます。

6 その他

設定項目の詳細や、困ったときの対処方法など
役立つ情報を紹介しています。

初期設定の変更と機能の設定

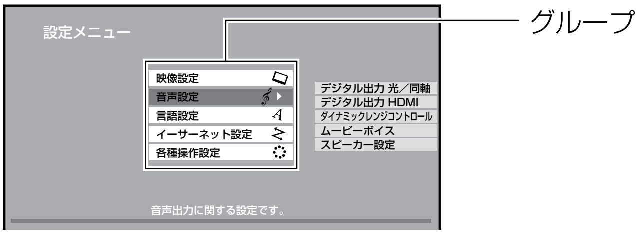


本機では、さまざまな機能があらかじめ設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

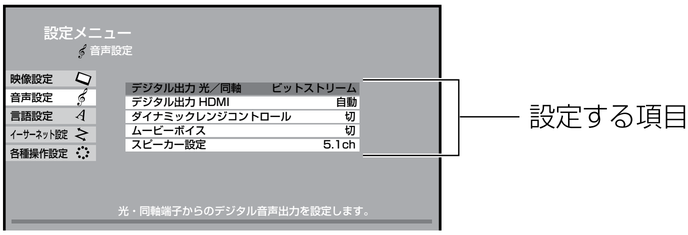
1 停止中に、[設定] を押す

設定画面が表示されます。

2 設定したい項目のグループを方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定) を押す



3 設定したい項目を、方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定) を押す



4 ⇨52ページ以降の説明を参照して、方向ボタンなどで設定し、(決定) を押す

5 手順3、4をくり返して他の項目を設定する

他のグループにうつるときは、手順2に戻ってください。
方向ボタン(◀/▶)で、グループ／設定項目画面に移動できます。

6 [設定] を押す

画面が消え、設定は終わりです。

グループ	項目	対応ディスク	設定内容	ページ
映像設定	TV画面形状	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R	接続してあるテレビの画面形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	52
	黒レベル	HD DVD DVDビデオ DVD-RAM DVD-RW DVD-R	再生画像の黒レベルを調整します。（暗い部分の見え具合）	52
	プログレッシブ変換	HD DVD DVDビデオ DVD-RAM DVD-RW DVD-R	再生する素材に合わせて、出力時の変換方式を設定します。（プログレッシブ方式のテレビに接続してお使いのとき。）	52
音声設定	デジタル出力 光／同軸	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	アンプなどを本機のデジタル音声出力端子に接続しているときの音声出力方式を設定します。	53
	デジタル出力 HDMI	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	アンプなどを本機のHDMI出力端子に接続しているときの音声出力方式を設定します。	53
	ダイナミックレンジコントロール	HD DVD DVDビデオ DVD-RAM DVD-RW DVD-R	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音がよく聞こえるようにする機能を設定します。	53
	ムービーボイス	HD DVD DVDビデオ	映画などのセリフを聞きやすくするための機能を設定します。	53
	スピーカー設定	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	使用するスピーカーの数に合わせて、出力チャンネル数などを設定します。	54
言語設定	DVDディスクメニュー	HD DVD DVDビデオ	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	54
	DVD字幕言語	HD DVD DVDビデオ	記録されている各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	54
	DVD音声言語	HD DVD DVDビデオ	記録されている各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	55
	画面言語	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	画面表示に使う言語を選びます。	55
イーサネット設定	DHCP	HD DVD	ネットワークの情報を取得する方法を設定します。	45
	プロキシ設定	HD DVD	ご加入のプロバイダでプロキシ設定が必要な場合に、そのプロキシサーバーのアドレスを設定します。	46
	Macアドレス	HD DVD	各機器ごとに決められているMacアドレスを表示しています。変更はできません。	46
	ユーザー名／パスワード	HD DVD	ディスクのなかには、この設定をしないと働かない機能があります。その場合に設定します。	46
	NTPサーバ	HD DVD	専用のサーバーへ自動的にアクセスして本機の時計を自動的に合わせる機能を使うかどうかを選びます。	46
各種操作設定	パレンタルロック	HD DVD DVDビデオ	パレンタルロック機能の内容や入／切を設定します。	56
	時刻設定	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	本機の時計を合わせます。	57
	画面表示	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	本機の動作状態を画面に表示するかどうかを設定します。	57
	操作音設定	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。	57
	スクリーンセーバー	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	スクリーンセーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。	57
	メニュー背景	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	画面に表示させる操作ツールのパターンを選びます。	57
	メンテナンス	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RAM DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	設定を初期状態に戻したり、内部のファームウェアを更新するなど、本機の状態を管理します。	57

映像設定

TV画面形状

16：9

16：9ワイドテレビ、または画角変換（アスペクトレシオ変換）機能付きテレビを本機に接続しているとき。

4：3パンスキャン

従来の4：3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面全体に再生画面を表示します。16：9の映像では画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

4：3レターボックス

従来の4：3テレビを本機に接続しているとき。
16：9の映像は画面の上下が黒く表示されます。

お知らせ

- HD DVDディスクまたはDVDビデオディスクは、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4：3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4：3の画面形状で再生されます。
- 4：3のテレビを本機に接続した状態で「16：9」を選ぶと、再生画面に水平方向の縮みが発生することがあります。お使いのテレビに合わせて設定を行なってください。
- 画角変換（アスペクトレシオ変換）での再生をするために、テレビ側で画面形状の設定が必要な場合があります。

黒レベル

再生画像の黒レベルを調整します。（暗い部分の見え具合）

普通

黒レベルを標準に設定します。

明るい

「普通」より画面が明るくなります。

プログレッシブ変換

DVDビデオディスクの記録内容には、一般的に、フィルム素材（フィルム映像を24コマ／秒で記録）とビデオ素材（映像情報を30コマ／秒で記録）の2種類があります。映像の種類に合わせて設定します。

フィルム

フィルム素材の映像を最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。映画などのコンテンツを見るのに適しています。

ビデオ

映像をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。ビデオ素材を見るのに適しています。

自動

通常の設定です。映像の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれ適した方法でプログレッシブ出力に変換します。

お知らせ

- 「自動」の設定は、ディスクによっては正確な判別ができない場合があります。輪郭がギザギザになったりぶれたりして見えるなど、不自然な映像となった場合は、「フィルム」もしくは「ビデオ」に設定してください。改善される場合があります。

音声設定

デジタル出力 光／同軸

アンプなどの外部機器を、本機のデジタル音声出力ビットストリーム／ PCM端子（光または同軸）に接続してあるとき、どの音声方式を出力するかを設定します。

出力される音声の種類については、59ページをご覧ください。

ビットストリーム

ドルビーデジタル、DTSのデコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、DTSで記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

PCM

2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、ドルビーデジタルPLUS、ドルビーTRUE HD、DTS、DTS-HDで記録されたHD DVDまたはDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

デジタル出力 HDMI

HDMI端子付き機器を、本機のHDMI出力端子に接続してあるとき、どの音声方式を出力するかを設定します。

出力される音声の種類については、59ページをご覧ください。

自動

ドルビーデジタル、DTS、MPEG、リニアPCMのデコーダーを内蔵したHDMI機器を本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、DTSで記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

接続したHDMI機器がドルビーデジタル、DTSまたはMPEGに対応していないときは、リニアPCMに音声を変換して出力します。

ビットストリーム

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したHDMI機器を本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

PCM

マルチチャンネル対応のHDMI機器を本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTSのマルチチャンネルで記録された音声をデコードして、マルチチャンネルのリニアPCMで出力します。

ダウンミックスPCM

2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

ダイナミックレンジコントロール

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

入

ダイナミックレンジコントロール機能が働きます。

切

ダイナミックレンジコントロール機能が働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録された市販のHD DVDまたはDVDビデオディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルは、ディスクによって変わります。

ムービーボイス

映画などのセリフを聞きやすくするため、セリフの音量を上げる機能です。

入

ムービーボイス機能が働きます。

切

ムービーボイス機能は働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能は、[スピーカー設定]を[2ch]に設定しているときに働きます。（54ページ）
- この機能の効果のレベルは、ディスクによって異なります。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

音声設定

スピーカー設定

アナログ5.1CH音声出力に設定しているときに、この設定が必要です。

5.1ch
5.1チャンネルサラウンドシステムをお使いのとき。
別の画面に移り各種の設定をします。

2ch
2チャンネルステレオシステムをお使いのとき。

■ ［5.1ch］を選んだとき…
スピーカーサイズとそれぞれのスピーカー設置距離、クロスオーバー周波数を設定します。

1）方向ボタン（▲／▼／◀／▶）で、設定するスピーカーを選び、（決定）を押す

2）方向ボタン（▲／▼）で、スピーカーサイズを選び、（決定）を押す

●フロント左／フロント右
小さい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力がないとき
大きい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力があるとき

●センター／サラウンド左／サラウンド右
小さい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力がないとき
大きい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力があるとき
なし：　スピーカーを接続していないとき

●ウーハー
使用：　サブウーハーを接続しているとき
未使用：サブウーハーを接続していないとき

●クロスオーバー
設定した周波数以下の帯域がサブウーハーに振り分けられます。
80Hz/100Hz/120Hzから選択します。

●m（メーター）
視聴位置から、それぞれのスピーカーまでのおおよその距離を設定します。

3）［次］を選び、（決定）を押す

4）［テスト］を選び、（決定）を押す
それぞれのスピーカーにテスト信号音が出力されます。方向ボタン（▲／▼）で、どのスピーカーの音量も同じに聞こえるように、音量を調整します。それぞれのスピーカー設定への移動は、方向ボタン（◀／▶）を使います。ここで調整しきれないときは、アンプ側のチャンネルバランスで調整してください。

5）調整が終わったら、［OK］を選び（決定）を押す

言語設定

DVDディスクメニュー

ディスクに記録されている各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

英語：
英語でディスクメニューを表示します。

フランス語：
フランス語でディスクメニューを表示します。

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。

その他：
ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順1～4を行なってください。

1 「言語コード表」（➡58ページ）で、希望の言語のコードを選ぶ
2 方向ボタン（▲／▼）で、コードの第1字を選ぶ
3 方向ボタン（◀／▶）でカーソルを移動させ、方向ボタン（▲／▼）でコードの第2字を選ぶ
4 ［OK］を選び、「決定」を押す



• 該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。

DVD字幕言語

ディスクに記録されている各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

なし：
字幕を表示しません。

英語：
英語で字幕を表示します。

日本語：
日本語で字幕を表示します。

その他：
字幕を表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順1～4を行なってください。

1 「言語コード表」（➡58ページ）で、希望の言語のコードを選ぶ
2 方向ボタン（▲／▼）で、コードの第1字を選ぶ
3 方向ボタン（◀／▶）でカーソルを移動させ、方向ボタン（▲／▼）でコードの第2字を選ぶ
4 ［OK］を選び、「決定」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DVD音声言語

ディスクに記録されている各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。

英語：
英語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順1〜4を行なってください。

1 「言語コード表」(58ページ)で、希望の言語のコードを選ぶ
2 方向ボタン(▲/▼)で、コードの第1字を選ぶ
3 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)でコードの第2字を選ぶ
4 [OK]を選び、「決定」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

画面言語

画面表示に使う言語を選びます。

英語：
英語で画面表示をします。

フランス語：
フランス語で画面表示をします。

日本語：
日本語で画面表示をします。

イーサネット設定

本機をインターネットに接続してネット機能をお使いになる場合に必要な設定です。「ネット機能」章をご覧ください。

各種操作設定

パレンタルロック

パレンタルロックに対応したHD DVDまたはDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法は、ディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えたりして再生されるなどの場合があります。

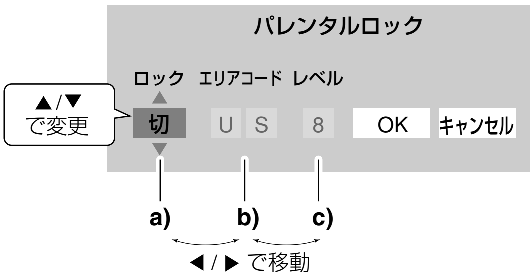
お願い

ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

1　**番号ボタンで4けたの暗証番号を入力し、「決定」を押す**

初めてお使いになる場合は、 番号ボタンで4けたの暗証番号を入力し、設定します。番号を入れまちがえたときは、「決定」を押す前に「クリア」を押して、入力し直します。

2　**各項目を設定します**



a) **方向ボタン(▲/▼)で、[入]または[切]を選ぶ**

入：

パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変更します。

切：

パレンタルロック機能は働きません。
手順3へ

b) **方向ボタン(▲/▼)で、下の表を参照して、設定したい規制レベルの国／地域のコードを入力する**

国／地域	コード
オーストラリア	AU
ベルギ	BE
カナダ	CA
中国	CN
中国香港	HK
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

c) **方向ボタン(◀/▶)で、設定したい規制レベルを選ぶ**

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ、再生できなくなります。

「US」以外を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「US」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　　レベル3：PG
レベル6：R　　レベル1：G
レベル4：PG13

3　**[OK]を選び、「決定」を押す**

■　**パレンタルロックの規制レベルを変えるには**

手順1～ 3を行なう

■　**暗証番号を変えるには**

1　**手順1で、「■」を4回押し、さらに「決定」を押す**

暗証番号が解除されます。

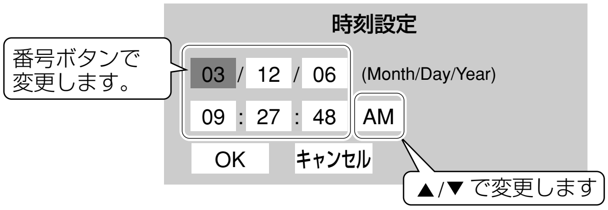
2　**番号ボタンで新しい4けたの暗証番号を入力する**

3　**「決定」を押す**

時刻設定

本機の時計を合わせます。

1　**方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で、設定する項目を選ぶ**



2　**番号ボタンで日時を設定します**

3　**方向ボタン(▲/▼)で、[AM]または[PM]を設定する**

4　**[OK]を選び、「決定」を押す**

時計が動きはじめます。

画面表示

本機の動作状態(「▶」など)を画面に表示するかどうかを設定します。

入：

「▶」などの動作状態を画面に表示します。

切：

「▶」などの動作状態を画面に表示しません。

操作音設定

本機を操作したときの操作音の有無を設定します。

入：

操作音が鳴ります。

切：

操作音が鳴りません。

スクリーンセーバー

静止画像状態が続くと、テレビ画面の焼付きが起こることがあります。これを防止する機能です。これらの機能は、テレビ画面の焼付き軽減のための機能であり、テレビ画面の焼付き防止を保証するものではありません。

自動電源オフ：

静止画が約20分間続くと、本機の電源が自動的に切れます。

入：

静止画が約20分間続くと、スクリーンセーバーが働きます。

切：

スクリーンセーバーは働きません。

メニュー背景

画面に表示させて使う操作ツールのパターンを選びます。

1：2：3

メンテナンス

設定を出荷時に戻す

(☞51ページ)の表にあるすべての設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻します。
方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」を押します。

ソフトダウンロード開始

イーサネット通信を使って、東芝サーバーから最新のファームウェアのダウンロードをします。
ダウンロードによって、本機の内部のプログラムが最新のものに更新されます。(本機の操作方法は変わりません。ダウンロード前と同じようにお使いいただけます。)
ご利用になるには、本機をブロードバンド常時接続のインターネット環境に接続する必要があります。接続方法は、「ネット機能」章をご覧ください。
更新を行なう場合は、[はい]を選び、「決定」を押します。[はい]を選んだあと、サーバ上に更新情報がない場合は、メッセージが表示され、ダウンロードは行なわれません。

注意

• ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。ファームウェアのダウンロードの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。動作しなくなった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■　**ファームウェアのバージョンの確認方法**

「ソフトダウンロード開始」を選び、「決定」を押すと、現在のバージョンが表示されます。

Persistent Storage

コンテンツ用のメモリーを管理する機能です。
設定の内容はコンテンツによって変わります。実際の表示にしたがって操作してください。

言語コード表

記号	言語名
―――	言語なし
CHI(ZH)	中国語
DUT(NL)	オランダ語
ENG(EN)	英語
FRE(FR)	フランス語
GER(DE)	ドイツ語
ITA(IT)	イタリア語
JPN(JA)	日本語
KOR(KO)	韓国語
MAY(MS)	マレー語
SPA(ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

出力される音声の種類

ディスク	音声方式		アナログ音声出力 5.1ch/2ch	デジタル出力 光／同軸	
				ビットストリーム	PCM
HD DVDビデオ スタンダードコンテンツ	DD plus		5.1ch/2ch	ビットストリーム	2ch PCM
	True HD	48kHz	2ch/2ch	2ch PCM	2ch PCM
		96kHz	2ch/2ch	2ch PCM*1	2ch PCM*1
		192kHz	2ch/2ch	2ch PCM*1	2ch PCM*1
	dts-HD		5.1ch/2ch	ビットストリーム	2ch PCM
	L-PCM	48kHz	○	2ch PCM	2ch PCM
		96kHz	○	2ch PCM*1	2ch PCM*1
		192kHz	2ch/2ch	2ch PCM*1	2ch PCM*1
アドバンストコンテンツ	コンテンツに準ずる		5.1ch/2ch	DTSビットストリーム	2ch PCM
DVD ビデオディスク	DD		5.1ch/2ch	ビットストリーム	2ch PCM
	L-PCM	48kHz	2ch/2ch	2ch PCM	2ch PCM
		96kHz	2ch/2ch	2ch PCM*1	2ch PCM*1
	dts		5.1ch/2ch	ビットストリーム	2ch PCM
	MPEG		2ch/2ch	ビットストリーム	2ch PCM
CD	L-PCM	44.1kHz	○	2ch PCM	2ch PCM
	dts	44.1kHz	○	ビットストリーム	2ch PCM
	MP3		2ch/2ch	2ch PCM	2ch PCM
	WMA		2ch/2ch	2ch PCM	2ch PCM
DVD-VR	DD		○	ビットストリーム	2ch PCM
	L-PCM		○	2ch PCM	2ch PCM
	MPEG		○	ビットストリーム	2ch PCM

ディスク	音声方式		デジタル出力 HDMI			
			Auto	ビットストリーム	PCM	ダウンミックスPCM
HD DVDビデオ スタンダードコンテンツ	DD plus		接続機器に準ずる	ビットストリーム*2	最大5.1ch PCM*3	2ch PCM
	True HD	48kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
		96kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM*1	2ch PCM*4	2ch PCM*1
		192kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM*1	2ch PCM*4	2ch PCM*1
	dts-HD		接続機器に準ずる	ビットストリーム*2	最大5.1ch PCM*3	2ch PCM
	L-PCM	48kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM	マルチチャンネルPCM	2ch PCM
		96kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM*1	マルチチャンネルPCM*4	2ch PCM*1
		192kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM*1	2ch PCM*4	2ch PCM*1
	MPEG		接続機器に準ずる	ビットストリーム	2ch PCM	2ch PCM
アドバンストコンテンツ	コンテンツに準ずる		接続機器に準ずる	2ch PCM*1	96kHzマルチチャンネルPCM*4	2ch PCM*1
DVD ビデオディスク	DD		接続機器に準ずる	ビットストリーム	マルチチャンネルPCM	2ch PCM
	L-PCM	48kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
		96kHz	接続機器に準ずる	2ch PCM*1	2ch PCM*4	2ch PCM*1
	dts		接続機器に準ずる	ビットストリーム	マルチチャンネルPCM	2ch PCM
	MPEG		接続機器に準ずる	ビットストリーム	2ch PCM	2ch PCM
CD	L-PCM	44.1kHz	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	dts	44.1kHz	接続機器に準ずる	ビットストリーム	マルチチャンネルPCM	2ch PCM
	MP3		2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	WMA		2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
DVD-VR	DD		接続機器に準ずる	ビットストリーム	マルチチャンネルPCM	2ch PCM
	L-PCM		2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	MPEG		接続機器に準ずる	ビットストリーム	2ch PCM	2ch PCM

*1：ダウンサンプリングPCM
*2：ビットストリーム出力するのは、接続したHDMI機器にビットストリームデコード機能があるときだけです。ない場合は、強制的にPCM(48kHz)で出力します。
*3：マルチチャンネルPCM出力するのは、接続したHDMI機器にマルチチャンネルデコード機能があるときだけです。
*4：画像解像度の設定が[720p]または[1080i]のときにだけ出力します。[480p]の設定のときには、48kHz 2ch PCM出力になります。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使ってする場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたとき、およびディスクを交換したときは、設定(⇨55ページ)どおりの音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- デジタル音声出力端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「デジタル出力　光／同軸」を「PCM」にしてください。

困ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

このようなとき	ここをお調べください
■電源がはいらない	→ 電源プラグが抜けていませんか。電源コードの接続を確かめてください。
■使用中に電源が切れる	→ 背面の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に本機を設置していませんか。通風孔と設置状態を確認してください。本機内部の温度が上がりすぎると、自動的に電源が切れるようになっています。
■画像が出ない	→ 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、または抜けかけていませんか。接続を確かめてください。 → 接続したテレビに本機の信号が出るように、テレビの入力を切り換えてください。 → D1/D2/D3/D4映像出力端子やコンポーネント映像出力端子、HDMI出力端子でテレビと接続している場合は、出力と解像度の選び方によって、一時的に本機の画像が出なくなることがあります。「D端子/HDMI」ボタンまたは「解像度切換」ボタンで本機の出力と解像度を切り換えてください。(➡21、22ページ)
■音声が出ない	→ 音声接続コードが抜けていませんか。 → 接続した機器の音量が最小になっていませんか。音量を調節してください。 → 音声接続コードをつないでいる機器の音声入力切換を、本機からの入力に合わせてください。 →「デジタル出力　光／同軸」または「デジタル出力　HDMI」(➡53ページ)を、接続機器と接続方法に合わせて正しく設定してください。 → 音量の設定が最小になっていませんか。設定(➡54ページ)を確かめてください。 → 出力の切り換えは正しいですか？　HDMI出力音声を聞くには、「D端子／ HDMI」ボタンでHDMI出力に切り換えてください。
■マルチチャンネル音声が出ない	→「スピーカー設定」(➡54ページ)を、「5.1ch」に設定してください。
■再生できない	→ 本機で再生できるディスクの種類を確かめてください。(➡26ページ) → ディスクによごれや傷がついていませんか。ディスクを確認し、きれいにしてください。 → DVD-RWやDVD-Rの場合は、ファイナライズしてから本機で再生してください。 → パレンタルロック対応のディスクの場合は、本機でパレンタルロックが設定されていると再生が制限されます。「パレンタルロック」(➡56ページ)を解除、または規制レベルを変更してください。
■再生画像が乱れる	→ 本機の映像を、ビデオデッキやビデオ内蔵テレビなどを通してご覧になると、コピーガードの働きにより、正常な画像にならないことがあります。本機とテレビは必ず直接つないでください。
■リモコンがきかない	→ リモコンの電池が消耗していませんか。電池を交換してください。 → 操作範囲や向きを確かめてください。
■画面が止まり、リモコンでも本体でも操作できなくなった	→ 本体の電源ボタンを約10秒間長押しすると、強制的に電源が切れます。電源を入れ直してお使いください。

仕様

■ 消費電力
79.0W

■ 電源
AC100V　50/60Hz

■ 質量
8.9kg

■ 外形寸法
幅437×高さ115×奥行354mm
(突起含まず)

■ 信号方式
NTSCカラーテレビジョン方式

■ 使用レーザー
半導体レーザー　波長405nm/650nm/780nm

■ 映像出力
1.0V(p-p)(75Ω)、同期負、ピンジャック×1系統

■ S1映像出力
(Y) 1.0V(p-p)(75Ω)、同期負
(C) 0.286V(p-p)(75Ω)
ミニDIN4ピン×1系統

■ コンポーネント映像出力(Y、C_B、C_R)
Y出力 1.0V(p-p)(75Ω)、同期負、
ピンジャック×1系統
C_B、C_R出力 0.7V(p-p)(75Ω)、
ピンジャック×各1系統

■ D1/D2/D3/D4端子出力
14ピン、2列、1.27mmピッチ　出力信号D1/D2/D3/D4
Y出力 1.0V(p-p)(75Ω)
C_B出力 0.7V(p-p)(75Ω)
C_R出力 0.7V(p-p)(75Ω)

■ 音声出力
2.0V(rms)、出力インピーダンス2.2KΩ以下、
ピンジャック(L、R)×1系統
2.0V(rms)、出力インピーダンス2.2KΩ以下、
ピンジャック×6

■ 音声出力(ビットストリーム／PCM端子)
光コネクター×1系統
同軸ピンジャック×1系統　0.5V(p-p)、75Ω

■ LANポート(LAN端子)
100BASE-TX/10BASE-T×1

■ EXTENSION端子
EXTENSION端子×2系統

■ RS-232C端子
DSUB 9ピン

■ HDMI出力端子
19ピン

■ リモコン
ワイヤレスリモコン
SE-R0210

■ 使用条件
温度：5℃〜35℃、動作姿勢：水平

- 意匠、仕様、ソフトウェアなどは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

メモ

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、HD DVDプレーヤーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	HD DVDプレーヤー
形名	HD-XA1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎(　　)　　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）

電話受付：365日・24時間受付

（※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。）

※携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区(北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県)
044-543-0220(通話料がかかります)
西日本地区(上記以外)　06-6440-4411(通話料がかかります)

- 「東芝家電修理ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

■新商品などの商品選びや、初期導入などよく使われる機能に関する取扱い方法、およびネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については、裏表紙をご覧ください。

商品のお問い合わせに関して

― 商品選びのご相談や、お買いあげ後の基本的な取扱方法 ―

・新製品などの商品選びのご相談
・各種ケーブルの接続などのご相談
・リモコン設定等の基本的な設定
・再生等の基本操作
注)ネットワーク接続設定を除きます。

上記についてのお問い合わせは

『東芝DVDインフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は） フリーダイヤル（通話料無料） **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は） ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-3755**
（PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合がございます）

月～土　10:00 ～ 20:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)
日曜日・祝日　10:00 ～ 16:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)

― 本機に関する高度な取扱方法 ―

・ネットワークに関してのご相談

上記についてのお問い合わせは

『RDシリーズサポートダイヤル』

ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-0233**
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土　10:00～18:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)
日曜日・祝日　10:00～16:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)
(12:30～13:30は休止)

■ホームページ上によくあるお問い合わせ情報を掲載しておりますのでご利用ください。
また、メンテナンス情報やトラブル情報につきましても、お問い合わせの前に、当社ホームページをご確認ください。

●「東芝DVDインフォメーションセンター」「RDシリーズサポートダイヤル」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
●東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105−8001　東京都港区芝浦1−1−1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓗ PM0024120010